CDP2024 コーポレート SME(中小企業)版質問書 モジュール 14-21



目次

目次	
モジュール 14: 中小企業イントロダクション	
イントロダクション	
(14.1) どの言語で回答を提出しますか?	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(14.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。	
(14.4) データの報告年の終了日を入力してください。	
(14.5) CDP の回答に含まれる事業体は、財務諸表に含まれる事業体と比較してどうですか?	
(14.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。	
(14.7) 14.5 で報告した事業体が拠点を置き、かつ/または事業を行っている国・地域を選択してください。	
モジュール 15: 中小企業のリスクと機会の特定、評価、管理	
リスクと機会を特定、評価、管理するプロセス	
(15.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。	
モジュール 16: 中小企業のリスクと機会の開示	
リスク開示	
ンペン開切。 (16.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。	
(16.1.1)報告年の間に貴組織にを重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。	
(16.2)報告年において、貴組織は水関連の規制違反に関する罰金、執行命令、その他の処罰を受けましたか。	
機会の開示	
(16.3)報告年度において、貴組織に実質的な影響を与えた、あるいは将来的に実質的な影響を与えると予想される環境上の機会を特定しましたか。	
(16.3.1)報告年において組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと予想される、特定された環境に関連する機会の詳細を記載してください。	19

モジュール 17: 中小企業ガバナンス	23
環境への責任	23
(17.1) 貴組織では、環境課題に対する責任を負っていますか。	23
(17.1.1)環境課題への責任を負う最高レベルの職位または委員会を記載してください。(個人名は含めないでください)	24
環境方針	26
(17.2)貴組織は、環境課題に取り組む環境方針を定めていますか。	26
(17.2.1)環境方針の詳細を記入してください。	27
モジュール 18:中小企業のビジネス戦略	29
リスクと機会が戦略と財務計画に及ぼす影響	29
(18.1) 環境リスクと機会は、戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか。	29
(18.1.1)環境問題によって生じるリスクと機会が、戦略および/または財務計画のどの部分でどのように影響を及ぼしたのか、説明してください。	30
移行計画	32
(18.2) 貴組織の戦略には、気候移行計画が含まれていますか。	32
バリューチェーンエンゲージメント	33
(18.3)環境問題について、サプライヤー、顧客、その他バリューチェーン内のステークホルダーと協働していますか	33
協働の機会 [SC のみ]	35
(18.4) 特定の CDP サプライチェーンメンバーと協働できる、お互いに有益な環境関連のイニシアチブを回答してください。	35
(18.5) 貴組織は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより、相互に有益な環境イニシアチブを既に実施しましたか。	38
(18.5.1)相互に有益な環境イニシアチブの実施を促した CDP サプライチェーンメンバーを明記し、イニシアチブの情報を提供してください。	39
連結アプローチ	42
(19.1)回答を通じて報告される気候関連の影響を判断するために貴組織が使用する連結アプローチを選択してください。この選択肢は、貴組織の GHG インベントリを統合するために選択したアプローチと ことにご注意ください。	
モジュール 20: 中小企業の環境パフォーマンス - 気候変動モジュールの概要	43
モジュール概要	43
排出方法と除外事項	43
(20.1)組織の温室効果ガス(GHG)排出量を評価していますか。排出量計算ツールの助けを借りて、排出量を測定したり推定したりすることもできます。	43
(20.2)活動データの収集と排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法論の名前を選択します。	46
(20.3)CDP 回答に含まれている事業体のスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 の排出源(施設、特定の温室効果ガス、活動、地域など)のうち、情報開示には含まれていないものはありますか。	48
(20.3.1) CDP 回答に含める事業体に起因するスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 の排出源の詳細であって、情報開示には含まれていないものについて記載してください。	49

スコープ 1、2、3 の排出インベントリ	5
(20.4)貴組織のスコープ 1 全世界総排出量は、何トン CO2e でしたか。	51
(20.5) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量は、何トン CO2e でしたか。	52
(20.6)14.7 で報告された国/地域による売上の割合はどれくらいですか?	54
(20.7)貴組織のスコープ 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。	54
(20.7.1)前年のスコープ 3 排出量データを開示するか再度記載してください。	56
(20.8)報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。	59
(20.9)報告年における排出量総量(スコープ 1+2)は前年と比較してどのように変化しましたか。	60
排出量の内訳	6
(20.10) 事業活動別のスコープ 1 全世界総排出量の内訳を示してください。	6
(20.11) 事業活動別のスコープ 2 全世界総排出量の内訳を示してください。	6
(20.12) 本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、貴組織の排出量を以下に示す顧客に割り当ててください。	62
(20.13)排出量を顧客ごとに割り当てる際の課題と、その課題を克服するために役立つことは何ですか	6
(20.14) 今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか?	6
エネルギー関連活動	6
(20.15)貴社では、電力消費量を国/地域別に分類していますか	66
(20.15.1)購入または取得した電力消費量の国/地域別の内訳を MWh 単位で提供してください。	67
(20.15.2) 組織が購入または取得した電力の消費量を MWh 単位で報告してください。	67
目標	68
(20.16)報告年度に実施された排出量またはその他の気候関連の目標はありましたか?	68
(20.16.1)排出の総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。	69
(20.16.2)排出原単位の目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。	72
(20.16.3)報告年度に実施されたその他の気候関連目標の詳細を記載してください。	7
排出削減の取り組み	78
(20.17)報告年度内に排出削減の取り組みを実施しましたか? これには、計画段階や実行段階にあるものも含みます。	78
(20.17.1)報告年度に実施した排出削減の取り組みの詳細を以下の表に記入してください。	79
モジュール 21: 中小企業質問書の最終承認	8
その他の環境情報の検証	83
(21.1)CDP 回答に含まれる環境情報(20.8 でまだ報告されていないもの)のうち、第三者によって検証および/または保証されているデータはありますか。	83

	(21.1.1))CDP の回答のうち、第三者によって検証および/または保証されているデータポイントはどれか、またどの基準を使用したか、示してください。	84
最終	8 承認	87
	・・・・ (21.2)CDP への回答に最終承認した人物に関する以下の情報を提供してください。	87
	· ·ーター・アクション・ハブ	88
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	88

【注意】 本書は CDP2024 コーポレート SME 版質問書の日本語仮訳です。CDP 質問書への回答準備のための参考資料としてご提供するものであり、質問内容、選択肢など、正しくは CDP ポータルに 掲載されている英語版を参照してください。本書を利用することに伴う直接・間接的に生じた損害、損失等に対し、CDP は責任を負いません

モジュール 14: 中小企業イントロダクション

イントロダクション

(14.1) どの言語で回答を提出しますか?

質問内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(1.1)
回答方法	選択肢:

(14.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	軽微な変更(1.2)
説明	CDP は組織に対し、依存、影響、リスク、機会に関連した財務数値を報告するよう推奨しています。単一の通貨で開示することで、比較可能な財務情報の収集が容易になります。これは、投資家や他のデータ利用者が、貴組織が回答した費用と便益を評価する際に有益です。
回答方法	選択肢: ● 通貨のドロップダウンリスト

(14.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(1.3)

説明	こちらに記載いただく貴組織に関する情報は、データ利用者が、事業活動やセクター、環境課題や企業戦略との関連性の中で、貴組織の回答内容 を理解するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
組織の種類	組織の詳細
選択肢:	文章記入欄[最大 1,000 字]

(14.4) データの報告年の終了日を入力してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(1.4)
説明	この質問により、時間的背景を明確にすることができ、組織の環境面での進捗について、一貫性をもった経年比較や評価を行うことが可能になります。これは、透明性と説明責任を高め、データ利用者が報告期間と関連した回答を解釈するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
報告年の終了日	本報告期間と財務情報の報告期間は一致していますか
日付[MM/DD/YYYY]	選択肢: はい いいえ

(14.5) CDP の回答に含まれる事業体は、財務諸表に含まれる事業体と比較してどうですか?

(1.5) 貴組織の報告バウンダリ(範囲)の詳細を回答してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(1.5)
	貴組織がこの開示枠組みに対応する一連の主体(グループ、事業、または企業)を、貴組織の報告バウンダリと呼びます。報告バウンダリの定義は、 環境報告における基本的なステップです。この質問に対する回答は、CDP 質問書でデータを提供する主体の集合を定義し、貴組織の回答があ事業 運営にどのように関連しているかをデータ利用者が解釈し、異なる組織の環境パフォーマンスを比較するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

	1列目で「いいえ」を選択した場合に表示
1	2
CDP 回答に使用する報告バウンダリは財務諸表で使用されて	財務諸表で使用される報告バウンダリと CDP 回答での報告バ
いるバウンダリと同じですか。	ウンダリにどのような違いがありますか。
選択肢:	文章記入欄[最大 2,500 字]
はい	
• いいえ	
● 該当なし‐財務諸表を公表してません	

[固定列]

(14.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(1.6)
説明	ISIN コードとその他の市場識別 ID は、債券、先物、株式等の有価証券の識別に世界的に使われているコードです。貴組織固有の市場識別 ID を記入することで、回答の透明性が高まります。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

		2列目で「はい」を選択した場合のみ表示
1	2	3
固有の市場識別ID	貴組織はこの固有の市場識別IDを使用していますか	貴組織固有の市場識別IDを記入してください

ISINコード - 債券	選択肢:	文章記入欄[最大50字]
	はい	
	• いいえ	
ISINコード - 株式		
CUSIP番号		
ティッカーシンボル		
SEDOLコード		
LEI番号		
D-U-N-S番号		
その他の一意の識別子		
選択肢:		
● ISIN コード - 債券		
● ISIN コード - 株式		
• CUSIP 番号		
• ティッカーシンボル		
• SEDOLコード		
● LEI 番号		
● D-U-N-S 番号		
• その他の一意の識別子		

[固定行-追加行]

(14.7) 14.5 で報告した事業体が拠点を置き、かつ/または事業を行っている国・地域を選択してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	軽微な変更(1.7)
説明	中小企業の中には、主にその国・地域だけで事業を展開している場合もあれば、近隣諸国に進出したり、特定の地域を対象としている場合もあり
	ます。この質問は、データ利用者が、貴組織の回答がさまざまな地理的地域にわたる貴組織の事業とどのように関連しているかを解釈するのに
	┃ 役立ちます。地理的なデータは、データ利用者が期待される状況を説明し、潜在的なリスクと機会を理解するために利用することができます。 ┃

1
_ U.I.B
国·地域
<u> </u>
該当するものをすべて選択してください
欧ヨッる UVIと リハ C 医IN U C へんごい
[国・地域のドロップダウンリスト]
[国・地域のドロップタラフラスト]

モジュール 15: 中小企業のリスクと機会の特定、評価、管理

リスクと機会を特定、評価、管理するプロセス

(15.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(2.2.1)
説明	中小企業は環境リスクを含むリスクに対して特に脆弱であることが多く、それは、強固なリスクアセスメントや管理システムが整備されていないことが多いためです。銀行や金融機関も、融資を決定する際に企業の環境リスクに関する情報を求めるようになってきています。そのため、リスクを特定し管理するための強固なリスク評価プロセスを整備することは、事業のレジリエンスを構築する上で重要であり、中小企業にとってこれほど重要なことはありません。
	加えて、中小企業の柔軟性と革新能力は、環境ソリューションを提供する上で好位置にあり、極めて重要です。このような機会を特定し、管理するための強固なプロセスがなければ、中小企業は競争上の不利に直面し、重要な機会を生かす能力を失う危険性があります。
	この質問では、組織が環境問題を特定、評価、管理するプロセスを持っているかどうかを確認し、データ利用者が自らの環境リスクと機会に対する 組織の認識を測ることができるようにします。これは、コスト削減、投資家や企業との関係の改善など、明確なビジネス上の利益と密接に関連してお り、企業が将来の環境政策に先駆けて、その成長を将来に備えていることを示すものです。
回答方法	以下の表に記入してください

	1 列目で「はい」を選択すると表示		
1	2	3	4
プロセスの有無	このプロセスで評価されたリスクや機会	評価の頻度	プロセスを説明してください
選択肢: • はい • いいえ、しかし今後 2 年以内にそうする予定です • いいえ、また今後 2 年以内にそうする予定もありません	選択肢: • リスクのみ • 機会のみ • リスクと機会の両方	選択肢: 年に複数回年1回2年に1回3年またはそれ以上の期間に1回重要な事案が生じたとき特定していない	文章記入欄[最大 3,500 文字]

[固定列]

モジュール 16: 中小企業のリスクと機会の開示

リスク開示

(16.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.1)
説明	重大な影響を及ぼす環境リスク(企業レベルの組織に対して、業務上、財務上、戦略上、相当な、または比較的重大な影響を及ぼしているもの、または及ぼすことが予測されるもの)は、事業全体または事業の一部を弱体化させる可能性があります。中小企業は特にグローバルリスクに対して脆弱であるため、リスクを特定することは、事業のレジリエンスを確保するための重要なステップです。また、投資家やデータ利用者にとっても、組織のリスク・エクスポージャーを理解することは極めて重要であり、特に、バリュー・チェーン(サプライヤー、顧客、その他のステークホルダー)全体にわたって、組織に重大なな影響を及ぼすと予想される環境リスクについて理解することが重要です。これには、報告年内にすでに影響を及ぼしたリスクと、将来影響を及ぼす可能性のあるリスクの両方が含まれます。評価の一環として、重大な影響を及ぼす環境リスクが特定されていない場合、データ利用者にとっては、そのようなリスクが組織に影響を及ぼすと予測されないと結論づけた経緯と理由を理解することも同様に極めて重要です。
回答方法	以下の表に記入してください。フォレストとウォーターの行は、これらのテーマを回答している組織のみに表示されます。

0	1	1 列目で「はい、直接操業とバリューチェーン上流/下流の両方において特定」以外が選択されている 場合に表示 っ
0		2
環境問題	環境リスクの特定	貴組織が直接操業やバリューチェーン上流/下流に環境リスクがないと判断した主な理由
気候変動	選択肢:	選択肢:
	• はい、直接操業とバリューチェーン上流/下流の両方に	• 環境リスクは存在するが、事業に重大な影響を及ぼす可能性があるものはない
	おいて特定	● 評価中
	• はい、直接操業のみにおいて特定	• 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因)
	はい、バリューチェーンの上流/下流のみにおいて特定	• 標準化された手順がない
	• いいえ	• 当面の戦略的優先事項ではない
		• データが不十分
		• その他、具体的にお答えください
フォレスト		

ウォーター		
-------	--	--

(16.1.1) 報告年の間に貴組織にを重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 16.1 の[環境リスクの特定]の列で「はい」のいずれかを選択した場合のみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.1.1)
説明	この質問に対する回答は、洪水や、持続可能な製品やサービスに対する需要の高まりによる顧客行動の変化など、現在および将来にわたって組織に影響を及ぼす環境リスクの概要をデータ利用者に提供します。このようなリスクの現在および将来予想される財務的影響に関する情報と、それらを管理・軽減するための対応戦略は、事業のレジリエンスと環境スチュワードシップを向上させるための投資を導き、企業活動を実施するために不可欠な要素です。さらに、大企業であれば、特定の新たな規制報告要件に基づき、リスクによる財務的影響の数値報告を求められる可能性があります。こうしたリスクへの対処を怠ると、風評被害、規制遵守の問題、財務的不安定につながる可能性があります。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

16.1 の 1 列 目の選択に 基づいて行 が表示		1 列目で「フ ォレスト」を 選択すると 表示		ドロップダウンのオ プションは、1 列目で 選択された環境課題 に依存して表示			1 列目で「ウォータ ー」を選択した場合 に表示		
1	2	3	4a	4b	5	6	7	8	9
当該リスクが 関係する環 境課題	リスク 識別 ID	コモディティ	環境リスクの種類	環境リスクの主な原 因	リスクが発生するバリュ ーチェン上の段階	リスクが発生す る国/地域	リスクが発生する 河川流域	リスクに関する 組織固有の詳 細	リスクの主な財務 的影響
気候変動	選択 肢: リスク 1-リス ク 100	該当なし	選択肢: • 急性の物理的リス ク	以下のドロップダウ ンリストから選択して ください。	選択肢: • 直接操業 • バリューチェーン上流 • バリューチェーン下流	該当するもの をすべて選択し てください:	該当なし	文章記入欄[最 大 1,500 文 字]	以下のドロップダ ウンリストから選 択してください。

	ク • 政策 • 市場 • 評判	り物理的リス	• [国・地域の ドロップダウ ンリスト]		
	技術法的	責任			
フォレスト	該当するものをすべて選んでください: ・ 木材製品 ・ パーム油 ・ 牛製品 ・ ココア ・ コーヒー ・ 大豆			該当なし	
	天然ゴム該当なし				
ウォーター	該当なし			該当するものをすべて選んでください: [河川流域のドロップダウンリスト] ・ 不明 ・ その他、具体的に	
該当するものをすべて選んでください: • 気候変動 • フォレスト • ウォーター					

10	10 列目で「当該リスクは、 報告年の間にすでに当組 織に重大な影響を及ぼし ています」以外の選択肢を 選択した場合に表示 11	12	13	13 列目で "はい"を選 択した場合に表示 14	13 列目で "はい"を選 択した場合に表示 15	13 列目 で "はい" を選択し た場合に 表示 16	ドロップダ ウンのオプ ションは 1 列目に依存 して表示 17	18	19	20
このリスク が組織に重 大な影響を 及ぼすと考 えられる時 間軸	想定される時間軸でこの リスクが影響を及ぼす可 能性	影響の 程度	リスクの財 務的影響 を定量化 すること ができま すか	見込まれる財務上の影響額一最小(通貨)	見込まれる財務上の影響額一最大(通貨)	財務上の 影響額の 説明	リスクへの 主な対応	リスク対応費用	費用計 算の説 明	対応の 詳細
選択してく ださい: • 短期 • 中期 • 長期 • 当該リス	選択肢: ・ほぼ確実 ・可能性が非常に高い ・可能性が高い ・5割を超える確率で ・可能性が低い ・可能性が低い ・可能性がが非常に低い ・可能性が並外れて低い 不明	選肢高やい中中〜低不択: いや 程程低い明 • ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	から選択 する: • はい • いいえ	数値記入欄[0 から999,999,999,999,999,99]までの数値を小数点以下2桁以内で入力]	数値記入欄[0 から999,999,999,999 までの数値を小数点以下2 桁以内で入力]	文章記入 欄[最大 2,500 字]	以下のドロ ップダウン メニュ らおさい。	数値フィールド[0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以 下 2 桁まで入力]。	文章記 入欄[最 大 1000 文字]	文章記 入欄 [最大 2,000 文字]

[行固定、行追加]

リスクの種類と主な環境リスク要因(4列目)

政策リスク

- カーボンプライシングメカニズム
- 国際法や二国間協定の変更
- 国内法の変更
- 既存商品・サービスの規制変更
- 水道料金の値上がり
- 操業許可取得の困難化
- 排水許可取得の困難化
- これまで規制されていなかった汚染物質に対する規制基準の導入
- 成熟した認証と持続可能性基準の欠如
- 河川流域管理が限定的またはその欠如
- 国境を越えた水管理が限定的またはその欠如
- 水利用効率、保全、リサイクル、またはプロセス基準の義務化
- 規制当局間の調整不足
- 環境規制の施行が不十分
- 排水の水質/水量の規制
- 法定取水制限/配水量の変更
- 土地保有権や水使用権に関する不確実性や対立
- ◆ その他の政策リスクの場合は、具体的にお答えください。

技術リスク

- 水を大量に消費するエネルギー源への依存
- 既存の生産地の収量を増加できない
- データアクセス不足
- 監視システムの欠如
- 低排出技術および製品への移行
- 水利用効率性が高く、水集約度の低い技術および製品への移行
- 水を大量に利用する低炭素エネルギー源に移行
- 新技術への投資の失敗
- その他の技術リスクがある場合は、具体的にお答えください

市場リスク

- 認証を受けた持続可能原材料が入手できない
- 持続可能な認証コモディティの価格上昇
- 顧客行動の変化
- 原材料コストの上昇

評判リスク

- ステークホルダーの懸念の増大や否定的なフィードバック
- 地元の反対
- 環境に悪影響を及ぼすプロジェクトや活動(GHG 排出、森林伐採・転換、水ストレスなど)の支援に関するネガティブな報道
- ヤクターへの非難
- その他の評判リスクの場合は、具体的にお答えくださ

急性の物理的リスク

- 雪崩
- 寒波/霜
- サイクロン、ハリケーン、台風
- 干ばつ
- 洪水(沿岸、河川、多雨、地下水)
- 氷河湖の決壊
- 熱波
- 豪雨(雨、霰·雹、雪/氷)
- 地滑り
- 汚染事故
- 嵐(吹雪、砂塵、砂嵐を含む)
- 地盤沈下
- トルネード
- 有害物質の流出
- 山火事
- その他の急性の物理的リスクがある場合は、具体的にお答えください

慢性の物理的リスク

- 土地利用の変化
- 降水パターンと種類の変化(雨、霰・雹、雪/氷)
- 温度の変化(待機、淡水、海水)
- 風のパターンの変化
- 海岸浸食
- 水質の低下
- 地下水資源の枯渇
- 熱ストレス
- 不十分な水インフラ

- 上下水道・衛生サービス(WASH)を十分に利用できないこと
- リーケッジ市場
- 組み込み(生産・製造に使用された)コモディティの限定的な可視性
- コモディティの原産地や合法性についての不確実性
- マーケットシグナルの不確実性
- その他の市場リスクの場合は、具体的にお答えください

法的責任リスク

- 訴訟問題
- 一時停止措置や自主協定
- その他の法的責任リスクの場合は、具体的にお答えください

- 生態系の脆弱性の増大
- 淡水域における環境汚染物質の増加
- 異常気象の深刻化
- 砂漠化による土地の損失
- 海洋酸性化
- 永久凍土の融解
- 衛生管理不足
- 自治体による上水の配給
- 塩水浸入
- 土地資源の不足
- 海面 ト昇
- 季節要因による供給量変動または経年変動
- 土壌劣化
- 十壌浸食
- ソリフラクション
- 気温変動
- 水ストレス
- ◆ その他の慢性の物理的リスクがある場合は、具体的にお答えください。

リスクの主な財務的影響(9列目)

- ブランドダメージ
- 売上構成や収入源の変化
- 事業撤退
- 成長に対する制約
- 株主価値の減少
- 資本へのアクセスの減少
- 資産価値または資産耐用年数の低下による、既存資産の評価損、減損、早期除却
- 製品およびサービスに対する需要低下に起因した売上減少
- 生産能力低下による減収
- 営業ライセンス確保の遅れ
- 生産能力の中断
- 売上の混乱
- バリューチェーン上流における混乱
- 労働力管理と計画の混乱

- 資本支出の増加
- 法令順守費用の増加
- 資本コストの増加
- 与信リスクの増加
- 直接費の増加
- 間接費(運営費)の増加
- 保険料のト昇
- 生産コストの増加
- 訴訟
- 事業許可の喪失
- リスクの高い地域の資産に対する保険の利用可能性の低下
- 新しい活動やプロセスに適応/展開するための初期費用
- その他、具体的にお答えください

リスクへの主な対応(24 列目)

農業活動

- 持続可能な灌漑活動を採用
- 森林減少や他の自然生態系の転換リスクが高い管轄区域からの調達を避ける
- 土壌の健全性向上
- 生物種の管理や回復
- ◆ その他の農業活動に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください。

多様化

- 新しい製品、サービス、市場の開発
- サプライヤーの多様化を拡大
- マーケティングキャンペーン
- 市場拡大
- 調達地域での緊急対応システムの強化
- 調達地域での火災管理システムの強化
- その他の多様化に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください

エンゲージメント

- 組織の政策エンゲージメントの取り組みと環境戦略の連携
- マルチステークホルダー・イニシアティブへの参加
- 顧客との協働
- 地域社会との協働
- NGO/特別利益団体との協働
- 規制当局/政策立案者との協働
- サプライヤーとの協働
- 業界団体との協働
- 関連のステークホルダー向けに苦情対応メカニズムの提供
- 環境インセンティブの導入/強化
- その他のエンゲージメントに関連する対応がある場合は、具体的にお答えください

法令順守、モニタリング、目標

• 自社事業での森林減少なし、転換なし

テクノロジー

- 水の効率的な利用、再利用、リサイクル、および保全活動を採用
- インフラ整備の改善
- 環境関連の資本支出を増加
- 施設の地理的多様性を増大
- 研究開発投資の拡大
- 上下水道と衛生設備(WASH)への投資拡大
- 代替給水を確保
- その他のインフラ、テクノロジー、支出に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください

自然に根ざした解決策、修復、保全

- 生物多様性オフセット
- 生態系の回復と長期的な保護を実施
- 管轄区域の取り組みへの参加、支援
- 自然に根ざした解決策を実施
- 金銭的インセンティブを含む持続可能な森林管理の推進
- 集水域と河川の回復を支援
- 河川流域の修復を支援
- 保全プロジェクト(森林再生、植林、および生態系復元を含む)での自発的なエンゲージメント
- その他の自然に根ざした解決策、修復、保全に関連する対応がある場合は、具体的にお答えく ださい

方針と計画

- 再生農業方針を採用
- 事業継続計画の修正
- 国、二国間、地域レベルで、国境を越えた水に関する方針や協定を検討
- 気候移行計画を策定
- 干ばつ緊急対策を策定
- 洪水緊急計画を策定
- 事業活動に影響のある政策と環境への取り組みとの整合性を強化
- 保険の補償範囲を拡大

- 拠点固有の目標を設定
- 組織全体の目標を設定
- 規制要件への遵守強化
- デューデリジェンスの強化
- コモディティのトレーサビリティ強化
- 直接操業における環境ベストプラクティスの実施
- 直接操業のモニタリングを強化
- バリューチェーン上流と下流における活動のモニタリングを強化
- サプライヤーのパフォーマンス基準の導入、強化
- バリューチェーンでのベストプラクティスと意識の向上
- その他の法令順守、モニタリング、目標に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください

- 持続可能に調達した原材料の使用量の増加
- より野心的な環境関連のコミットメントと方針
- より野心的な転換なしのコミットメントと方針
- 自然生態系を保護するためのより野心的な方針とコミットメント
- 業界における環境関連の協働枠組み、イニシアチブ、コミットメントへの参加
- リスク移転手段を利用
- その他の方針、計画に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください

プライシング、クレジット

- インターナルカーボンプライシングを導入
- インターナルウォータープライシングを導入
- インターナルカーボンプライシングの引き上げ
- インターナルウォータープライシングの引き上げ
- 水質クレジットの購入
- 炭素クレジットの推進/購入
- その他のプライシング、クレジットに関連する対応がある場合は、具体的にお答えください

(16.2) 報告年において、貴組織は水関連の規制違反に関する罰金、執行命令、その他の処罰を受けましたか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.3)
説明	組織全体の法令順守に関連する罰金やその他の非金銭的な罰則に関する理解は、地域の事業環境に及ぼす影響や、水管理の潜在的な財務的影響に対する組織の認識を示しています。この情報は、投資家や他のデータ利用者が、企業レベルでの管理手続きの有効性をある程度理解するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください

	1 列目で「はい」を選択すると表示	
1	2	3
水関連規制違反の有無	罰金、執行命令、および/またはその他の罰則	コメント
選択肢: • はい • いいえ • 不明	該当するものをすべて選択してください: 罰金執行命令またはその他の罰則罰金、ただし重大とみなされるものはない執行命令やその他の罰則はあるが、重大とみなされるものはない	文章記入欄[最大 1,000 文字]

機会の開示

(16.3) 報告年度において、貴組織に実質的な影響を与えた、あるいは将来的に実質的な影響を与えると予想される環境上の機会を特定しましたか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.6)
説明	重大な影響を持つ環境機会(企業レベルにおいて、組織に対して、業務上、財務上、または戦略上、相当程度または比較的大きな影響を及ぼしているもの、または及ぼすことが予測されるもの)は、コスト削減や収益創出、差別化と競争力の強化、雇用創出、ステークホルダーの信頼性の向上、さらにはより広範な地域社会への利益といったプラスの影響に貢献することができます。投資家やデータ利用者にとっては、組織が、直接的な事業活動の中で、あるいはバリューチェーン全体(サプライヤー、顧客、その他のステークホルダー)の中で、組織に重大なな影響を及ぼすと予想される環境上の機会を特定しているかどうかを知ることが極めて重要です。これには、報告年にすでに影響を及ぼした機会と、将来影響を及ぼす可能性のある機会の両方が含まれます。アセスメントの一環として、重大な影響を及ぼす環境上の機会が特定されなかった場合、データ利用者にとっては、組織がどのような機会を提示されていないと結論づけたのか、またその理由を理解することも同様に極めて重要です。
回答方法	以下の表に記入してください。フォレストとウォーターの行は、これらのテーマを回答している組織のみに表示されます。

		1 列目で「いいえ」を選択した場合に表示
0	1	2
環境課題	環境機会を特定	貴組織に環境機会がないと考える主な理由
気候変動	選択肢: • はい、機会を特定し、いくつか、あるいはすべてが実現しています • はい、機会を特定していますが、実現できていません • いいえ	選択肢: ・機会は存在するが、組織に重大な影響を及ぼすと予想されるものはない ・評価中 ・内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) ・標準化された手順がない ・当面の戦略的優先事項ではない ・データが不十分 ・その他、具体的にお答えください
フォレスト		
ウォーター		

(16.3.1) 報告年において組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと予想される、特定された環境に関連する機会の詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問16.3の[環境機会の特定]の列で「はい、」のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.6.1)
説明	この質問に対する貴組織の回答により、データ利用者は、報告年度に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に実質的な影響を及ぼすと推定される環境機会の概要を知ることができます。これらの機会の現在および潜在的な規模(推定値)に関する情報と、これらの機会を捉えるための貴社の対応戦略により、データ利用者は、貴社の組織が事業の回復力と環境スチュワードシップを向上させるためにどのような企業行動を実施しているかを確認することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

行は、16.3 の 1 列目の 選択に基づいて表示		1 列目で「フォレスト」 を選択すると表示		ドロップダウンのオプ ションは、1 列目で選 択された環境課題に依 存して表示			1 列目で「ウォ ーター」を選択 した場合に表 示
1	2	3	4a	4b	5	6	7
当該機会が関連する環 境課題	機会識別 ID	コモディティ	機会の種類	主な環境機会要因	機会が発生するバリューチェ ーン上の段階	機会が発生す る国/地域	機会が発生した河川流域
気候変動	選択肢: Opp1- 100	該当なし	選択肢: ・ キャッシュフローと 資金調達 ・ エネルギー源(CC) ・ 市場 ・ 製品とサービス ・ 評判資本 ・ レジリエンス ・ 資源効率 ・ その他、具体的に	以下のドロップダウン メニューからお選びく ださい。	選択肢: • 直接操業 • バリューチェーン下流 • バリューチェーン上流	該当するもの をすべて選ん でください: [国・地域のド ロップダウンリ スト]	該当するもの をすください: 「河川流域のドロップメト」 ・ 不明 ・ その他、具体的に
フォレスト		該当するものをすべ て選んでください: 木材製品 パーム油 牛製品 ココア コーヒー 大豆 天然ゴム 該当なし					
ウォーター		該当なし					
気候変動フォレストウォーター							

		10	10 列目で「この機会は、報告年において、すでに重大な影響をもたらしています」以外の選択肢を選択した場合に表示	12
8	9	10	11	12
機会に関する組織固有の詳細	機会の主な財務的影響	この機会が組織に重大な影響を及ぼすと 考えられる時間軸	想定される時間軸で機会が影響を及ぼす可 能性	影響の程度
文章記入欄[最大 1,500 文字]	から選択する: 表の下のドロップダウンリ スト	• この機会は、報告年において、すでに重	可能性が非常に高い可能性が高い5割を超える確率で	選択肢: • 高い • やや高い • 中程度 • 中程度~低い • 低い

「行固定、行追加」

キャッシュフローと資金調達

- 新たな融資オプションへのアクセス
- サステナビリティリンクローンへのアクセス
- バイヤーからの金銭的報酬
- 生態系サービスへの支払い(REDD+以外)
- 森林減少および転換なしの原材料に対する価格プレミアム[Fのみ]
- REDD+
- その他のキャッシュフローと資金調達に関連する機会がある場合は、具体的にお答え ください

エネルギー源[CC のみ]

- 炭素市場への参加[CC のみ]
- 分散型エネルギー発電へのシフト[CC のみ]
- 炭素回収・貯留の利用[CC のみ]

主な環境機会要因(4b 列目)

製品とサービス

- 事業活動の多角化の可能性
- 研究開発および技術革新による新製品・新サービスの開発
- 既存製品・サービスの売上増加
- 生産の安定性向上[F、B のみ]
- バリューチェーンの透明性の向上
- 製品使用による水資源への影響の低減[W のみ]
- 消費者の嗜好の変化
- その他の製品とサービスに関連する機会がある場合は、具体的にお答えください

評判資本

- 地域社会との関係改善
- 持続可能性/ESG 指標による評価の向上
- 製品/サービスに対する需要増加をもたらす評判上の利益

- 低炭素エネルギー源の利用[CC のみ]
- 再生可能エネルギーの利用[CC のみ]
- その他のエネルギー源に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください[CC のみ]

市場

- より安価で、より利用しやすいクレジットへの容易なアクセス
- 新規市場への進出
- ブランド価値の向上
- サプライチェーン・エンゲージメントの向上
- 環境負荷を低減した製品(認証製品以外)の入手可能性の増加
- 認証された持続可能な原材料への需要の高まり
- 代替タンパク質市場の成長拡大[F、畜牛品と大豆のみ]
- より強い競争優位性
- 公的機関からのインセンティブ利用
- ◆ その他の市場に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください。

- 社会的営業許可の強化
- その他の評判資本に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください

レジリエンス

- 将来の規制の変化に対するレジリエンスの向上
- 従業員の定着率の向上
- 気候変動の影響に対するレジリエンスの向上
- バリューチェーン上流のレジリエンスの向上
- 業界における環境関連の協働枠組み、イニシアチブ、コミットメントへの参加
- ビジネスモデルの転換
- その他のレジリエンスに関連する機会がある場合は、具体的にお答えください

資源効率

- 荒廃地での農業拡大[Fのみ]
- コスト削減
- 生産・流通プロセスの効率化
- よりエネルギー/資源効率の高い建物への移転[CC のみ]
- 水の使用量と消費量の削減[CC、Wのみ]
- 再生産[F、W、B]
- より効率的な交通手段の利用[CC のみ]
- リサイクルの利用
- 下水処理からの水回収[Wのみ]
- 新技術の利用
- その他の資源効率に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください

機会の主な財務的影響(9 列目)

- 直接費の減少
- 間接費(運営費)の減少
- 製品およびサービスに対する需要増加による売上増加
- 新市場と新興市場への参入を通じた売上増加
- 生産能力増強に起因する売上増加
- 価格プレミアムによる増収
- バリューチェーン下流企業からの直接支払いによる増収
- 資本へのアクセス向上
- より低い/有利な金利での資本アクセスの増加
- 固定資産の価値上昇
- 金融資産の多様化
- 低排出技術への投資収益率の向上
- ◆ その他、具体的にお答えください

モジュール 17: 中小企業ガバナンス

環境への責任

(17.1) 貴組織では、環境課題に対する責任を負っていますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(4.3)
説明	この設問は、組織における環境課題の重要性を強調することへのコミットメントのレベルを示すものです。役員または管理職レベルに 責任を課すということは、その組織が環境方針の実施に取り組んでいることを示します。
回答方法	以下の表に記入してください。フォレストとウォーターの行は、これらのテーマを回答している組織のみに表示されます。

0	1
環境問題	この環境課題に対する責任
気候変動	選択肢: • はい • いいえ、しかし今後 2 年以内にそうする予定です • いいえ、また今後 2 年以内にそうする予定もありません
フォレスト	
ウォーター	

[固定列]

(17.1.1)環境課題への責任を負う最高レベルの職位または委員会を記載してください。(個人名は含めないでください)

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問17.1 の 1 列目[この環境課題に対する責任]で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(4.3.1)
説明	この設問は、組織における環境課題の重要性を強調することへのコミットメントのレベルを示すものです。役員または管理職レベルに責任を 課すということは、その組織が環境方針の実施に取り組んでいることを示します。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6
環境課題	責任を負う個人の職位または委員会	この職位の環境関連の責任	報告系統	環境課題に関する取締役会への報告頻度	説明してください
	びください。	一から該当するものをすべて	選択肢: ● 取締役会に直接報告 ● エグゼクティブリーダーシップ (CEO、CRO、CFO、COO、 CSO、またはそれに相当する役 職)への報告 ● その他、具体的に	選択肢: ・ 四半期に 1 回以上の頻度で ・ 四半期に 1 回 ・ 半年に 1 回 ・ 年 1 回 ・ 年 1 回 ・ 年 1 回 ・ 重要な事案が生じたとき	文章記入欄[最大 2,000 文字]
フォレスト					
ウォーター					
選択肢:: • 気候変動 • フォレスト • ウォーター					

[行固定、行追加]

責任を負う個人の職位または委員会(1列目)

役員レベル

- 最高経営責任者(CEO)
- 最高財務責任者(CFO)
- 最高執行責任者(COO)
- 最高調達責任者(CPO)
- 最高リスク管理責任者(CRO)
- 最高サステナビリティ責任者(CSO)
- ガバナンス関係最高責任者(CGRO)
- 最高技術責任者(CTO)
- 最高コンプライアンス責任者(CCO)
- その他の最高経営層
- 社長
- 最高法務責任者

委員会

- リスク委員会
- 持続可能性委員会
- 環境・社会・ガバナンス委員会
- 安全·健康·環境·品質委員会
- 企業責任委員会
- その他の委員会、具体的にお答えください

管理職レベル

- 事業部長
- エネルギー部長
- 環境・衛生・安全部長
- 環境/サステナビリティ部長
- 施設管理者
- プロセス・オペレーション・マネージャー
- 調達部長
- 広報部長
- リスク管理部長

その他

その他、具体的にお答えください

この職位の環境関連の責任(2列目)

リスク、機会

- リスク、機会に関する将来動向の評価
- リスク、機会の評価
- リスク、機会の管理

方針、コミットメント、目標

- 企業の環境方針および/またはコミットメントの設定
- 企業の環境方針および/またはコミットメントの遵守のモニタリング
- 企業の環境目標の設定
- 企業の環境目標の進捗状況の測定
- 環境科学に基づく目標達成に向けた進捗状況の測定

戦略と財務計画

- 環境シナリオ分析の実施
- 気候移行計画の策定[CCのみ]
- 気候移行計画の実行[CCのみ]
- 環境課題を考慮した事業戦略の策定
- 環境課題に関する事業戦略の実行
- 環境課題に関する買収、合併、売却の管理
- 環境課題に関する大規模な資本支出および/または事業支出の管理
- 環境課題に関する年間予算の管理
- 技術革新/低環境負荷製品・サービス(研究開発を含む)に関する優先事項の管理
- 環境報告、監査、検証プロセスの管理

エンゲージメント	その他
• 環境課題に関する政策エンゲージメントの管理	環境パフォーマンスに関連した従業員インセンティブの提供
• 環境課題に関するバリューチェーン・エンゲージメントの管理	● その他、具体的にお答えください
• 管轄区域におけるエンゲージメントの管理	
• サプライヤーの環境要件遵守の管理	

環境方針

(17.2) 貴組織は、環境課題に取り組む環境方針を定めていますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(4.6)
説明	環境方針は、説明責任を果たしながら行動を推進するための基盤となる重要なガバナンス・ツールです。環境課題に対する企業環境方針を定めることは、組織が環境課題の重要性を理解し、環境アクションを起こす責任を認識していることを示します。 したがって、データ利用者は、組織が環境課題に関連する組織の依存、影響、リスク、機会を認識し、明確な意図と行動の方向性を持つ方針を明確にし、文書化していることを知りたいと考えています。組織のステークホルダーに対する説明責任を果たすため、方針は公開されるべきです。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	<i>1 列目で「いいえ…」が選択されている場合に表示</i> 2
貴組織には環境方針がありますか	環境方針を定めていない主な理由
選択肢: • はい • いいえ、しかし今後 2 年以内にそうする予定です • いいえ、また今後 2 年以内にそうする予定もありません	選択肢: • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください

[固定列]

(17.2.1)環境方針の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問17.2の1列目[貴組織には環境方針がありますか]で「はい」を選択した場合の み表示されます。
完全版質問書との整 合性	質問の修正(4.6.1)
説明	環境方針は、説明責任を果たしながら行動を推進するための基盤となる重要なガバナンス・ツールです。この質問では、環境課題に対する組織の意識レベルを把握し、方針で示された行動の確実性を示すことで、環境課題に関する組織のコミットメントをデータ利用者に示すことができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

				ドロップダウンのオプションは、 1 列目で選択された環境課題に 依存して表示
1	2	3	4	5
環境課題	方針の適用範囲	バリューチェーンの段階の適用範囲	適用範囲について説明してください	環境方針の内容
該当するものをすべて選	選択肢:	該当するものをすべて選択してください:	文章記入欄[最大 1,500 字]	以下のドロップダウンメニュー
択してください:	● 組織全体	● 直接操業		から該当するものをすべて選択
• 気候変動	● 特定の施設、事業、地域のみ	● バリューチェーン上流		してください。
フォレストウォーター	一部の製品のみ選択されたコモディティのみ	• バリューチェーン下流		
ウォーター	• 選択されたコモディティのみ	● ハリューナエーノト流		

[行を追加]

環境方針の内容(5列目)

環境に関するコミットメント

- 規制および必須基準の遵守へのコミットメント
- 規制遵守にとどまらない環境行動へのコミットメント
- 共有の持続可能性目標を推進するために、統合されたマルチステークホルダーのランドスケープ(河川流域を含む)イニシアティブに関与することへのコミットメント[F, Wのみ]
- 環境課題に関するステークホルダーエンゲージメントとキャパシティビルディングへのコミットメント
- その他の環境に関するコミットメントを具体的にご記入ください

気候関連のコミットメント[1列目で「気候変動」を選択した場合に表示される]

- 再生可能エネルギー100%へのコミットメント
- ネット・ゼロ排出へのコミットメント
- 化石燃料拡大への投資を行わないというコミットメント
- その他の気候関連のコミットメントを具体的にご記入ください

フォレスト関連のコミットメント[1列目で「フォレスト」を選択した場合に表示される]

- 土壌と泥炭に対する最良の管理方法に対するコミットメント
- 目標期日まで自然生態系の転換なしのコミットメント
- 目標期日まで森林減少ゼロのコミットメント
- その他のフォレスト関連のコミットメントを具体的にご記入ください。

- 有害物質の削減または段階的廃止へのコミットメント
- 水質汚濁の抑制・削減・撲滅へのコミットメント
- ★使用量削減へのコミットメント
- 取水量削減へのコミットメント
- 地域コミュニティにおける安全な WASH 管理へのコミットメント
- ウォーター・スチュワードシップおよび/または共同アクションへのコミットメント
- ◆ その他の水関連のコミットメントを具体的にご記入ください

社会関連のコミットメント

- 国際労働機関原則の採択
- 男女平等と女件のエンパワーメント推進へのコミットメント
- 先住民族と地域コミュニティの土地、資源、領土に対する慣習上の権利を尊重し、保護することへのコミットメント
- 国際的に認められた人権を尊重することへのコミットメント
- ◆ その他の社会関連のコミットメントを具体的にご記入ください。

その他の言及/記述

- 方針の対象となるコモディティの説明 [Fのみ]
- 環境方針の不遵守をモニタリングし、その他のグリーンウォッシングに関する懸念事項を提起/対処/軽減するための苦情処理/内部通報制度の説明
- 再生可能エネルギー電力の調達慣行に関する記述[Cのみ]
- 期限付きの環境マイルストーンと目標への言及
- その他の言及/記述を具体的にご記入ください

モジュール 18:中小企業のビジネス戦略

リスクと機会が戦略と財務計画に及ぼす影響

(18.1) 環境リスクと機会は、戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 16.1, 16.3 の 1 列目で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
完全版質問書との整合性	軽微な変更(5.3)
説明	この設問では、組織が環境問題を業務レベルだけでなく、事業の戦略的レベルで検討し、対応しているかどうかを示すことができます。 気候関連の意思決定やイニシアチブを全社戦略に組み込んでいる企業ほど、意味のある行動を取り、気候関連の目標を達成できる可能性が高いという強力な証拠があります。 新たな規制や、環境要因による生産に必要な主要資源の潜在的不足といった環境リスクは、組織戦略と財務計画の双方に影響を及ぼす可能性があります。こうした課題に対処するためには、規制要件との整合やサプライヤーの多様化など、戦略的な見直しが必要となる場合があります。また、コンプライアンスのための資源配分や、新技術や代替資源への投資など、財務計画の調整も必要になる場合があります。 一方、環境的機会は、組織戦略と財務計画の双方にプラスの影響を与える可能性があります。例えば、消費者の嗜好が環境に配慮した持続可能な製品へとシフトしていることを認識すれば、環境にやさしい製品を開発するという戦略的な決断が促されるかもしれません。さらに、環境への取り組みやブランド評価の向上は、環境・社会・ガバナンス(ESG)投資への関心の高まりと一致します。財務的な観点からは、エネルギー効率の高い技術の採用や、費用対効果の高い再生可能エネルギーへの移行といった機会を捉えることで、間接費の削減につながる可能性があります。

	1 列目で「戦略および財務計画の両方」以外の選 択肢を選択した場合に表示	1 列目で「戦略および財務計画の両方」以外の選 択肢を選択した場合に表示
1	2	3
環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計 画に影響を及ぼしましたか	たは財務計画に影響に及ぼしていない主な理由	環境リスクおよび/または機会が、戦略および/ または財務計画に影響を及ぼしていない理由を 説明してください。
選択肢: はい、戦略のみ はい、財務計画のみ はい、戦略と財務計画の両方 環境リスクと機会が組織の戦略と財務計画に影響を与えたかどうかは評価していないが、今後2年以内に評価する予定である。 環境リスクや機会が組織の戦略や財務計画に影響を及ぼしているかどうかを評価しておらず、今後2年以内に評価する予定もない。 いいえ	選択肢: • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 字]

(18.1.1)環境問題によって生じるリスクと機会が、戦略および/または財務計画のどの部分でどのように影響を及ぼしたのか、説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 18.1 の「環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか」の欄で、 「はい、戦略のみ」、「はい、財務計画のみ」または「はい、戦略と財務計画の両方」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(5.3.1, 5.3.2)
説明	この質問を通じて、データ利用者は、特定された環境リスクと機会が組織の戦略や財務計画にどのような影響を与えたかを理解できます。この質問に対する回答は、貴組織の将来のパフォーマンスや、貴組織の戦略や財務計画が環境リスクや機会に対してどの程度弾力性があるかについての予想に利用される可能性があります。

行は、18.1 の 1 列目 の選択に基づいて表示 される。	戦略」行にのみ表示される	ファイナンシャル・プラ ンニング」の行にのみ表 示される			
1	2	3	4	5	6
環境リスクや機会の影響を受ける地域	影響を受けた事業分野	影響を受けた財務計画 の要素	影響の種類	貴社のこの領域における戦略や財務計画に影響を及ぼしましたか	環境リスクおよび/または機会が、この領域における貴社の戦略や財務計画にどのような影響を及ぼしたかを説明してください。
戦略	該当するものをすべて選んでください: ・ 製品とサービス ・ バリューチェーン上流/下流 ・ 研究開発への投資 ・ 操業	該当なし	該当するものをすべて選択してください: ・ リスク ・ 機会	該当するものをすべて選択してください: • 気候変動 • フォレスト • ウォーター	文章記入欄[最大 2,500 字]
財務計画	該当なし	該当するものをすべて 選んでください:			
選択肢:					

[固定行/追加行]

移行計画

(18.2) 貴組織の戦略には、気候移行計画が含まれていますか。

質問 内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(5.2)
説明	気候移行計画の策定は、データ利用者に対して、組織が長期的かつグローバルな気候目標に整合しており、そのビジネスモデルがネット・ゼロ・カーボン経済においても適切であり続けるという確証を与えます。また、気候移行計画に関するフィードバックを収集することで、株主は、進捗状況を確認し、決議することができます。この質問では、組織の移行計画や関連するフィードバックの仕組みに関する透明性を提供することができます。
	投資家、顧客、従業員から、企業がどのように気候危機に取り組み、自社のビジネスモデルをネットゼロの未来に沿ったものへと移行させる計画なのか、関心が高まっています。移行とは、次の 2 つの主要な結果が追求される世界とビジネスモデルを一致させるための行動をとることを指します:(1)世界の平均気温が産業革命以前の水準より 1.5℃上昇しないこと、(2)自然の生態系の健全性が回復すること、そして長期的に人々と地球のために機能する繁栄する経済を可能にすること。信頼できる移行計画は、組織がそのような行動をどのように達成するかを定め、組織の行動を通じて気候変動を緩和するための進捗状況について、説明責任と透明性を果たすためのメカニズムとして機能します。
	中小企業の柔軟性とイノベーション能力は、気候変動へのレジリエンスを高め、世界の気温上昇を 1.5℃に抑えるための鍵となる気候ソリューションを提供する上で、非常に重要な役割を担っています。しかし、中小企業がネット・ゼロ・カーボン経済ヘビジネスモデルを移行するための行動をとらなければ、競争上の不利に直面し、低炭素化の機会を失うリスクがあります。
	気候移行計画を策定することで、データ利用者に対して、組織が長期的かつグローバルな気候変動目標に整合していること、そして、そのビジネスモデルが、ネット・ゼロ・カーボン経済において適切な存在であり続けることを確信させることができます。気候移行計画に関するフィードバックを収集することで、ステークホルダーは、進捗状況を確認し、解決策を提起することができます。この質問は、組織の移行計画や関連するフィードバックの仕組みに関する透明性を提供するものです。

	1 列目で「気候変動 移行計画がある」を 選択した場合に表示	1 列目で「気候変 動移行計画があ る」を選択した場 合に表示	1 列目で「気候変動 移行計画がある」を 選択した場合に表示	4 列目で「フィー ドバックの仕組み がある」を選択し た場合に表示	1 列目で「気候変動 移行計画がある」を 選択した場合に表示	1 列目で「気候変動 移行計画がある」を 選択した場合に表 示	7列目で「フォレス ト」、「ウォーター」、「そ の他(具体的に)」を選 択した場合に表示
1	2	3	4	5	6	7	8
移行計画	移行計画が整合して いる気温上昇	気候移行計画の公 開	気候移行計画につ いてステークホルダ ーからフィードバッ クを収集する仕組み	フィードバック収 集の頻度	気候移行計画を詳述 する関連書類を添付 してください(任意)	気候移行計画が考 慮するその他の環 境課題	気候移行計画において、その他の環境課題がどのように考慮されているかを説明してください
選択肢: ・はい、気候移行計画があります ・いいえ、しかし2年以内に気 候移行計画を作成する予定です ・いいえ、2年以内に気候移行 計画を作成する予定はありません	選択肢: • 1.5℃に整合 • 2℃を十分に下回 る水準に整合 • 2℃に整合 • 特定していない • その他、具体的にお 答えください	選択肢: • はい • いいえ	選択肢:	選択肢: 年 1 回以上の頻度 年 1 回 年 1 回 年 1 回 年 1 回未満の頻度	[ファイル添付]	該当するものをす べて選択してください: フォレスト ウォーター その他、具体的にお答えください その他の環境課題は考慮されていない	文章記入欄[最大 2,500 文字]

バリューチェーンエンゲージメント

(18.3)環境問題について、サプライヤー、顧客、その他バリューチェーン内のステークホルダーと協働していますか

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(5.11、5.11.7、5.11.9)
説明	バリューチェーンのステークホルダーとのエンゲージメントは、組織が事業活動に関連する環境問題を前進させるために不可欠です。バリューチェーンとは、組織がその製品やサービスを構想から納品、消費、使用後に至るまでの過程で、使用し、依存する活動、資源、関係を含みます。関連する活動、資源、関係には、a)人的資源など、組織自身の事業におけるもの、b)材料やサービスの調達、製品やサービスの販売・配達など、組織の供給、マーケティング、流通チャネルに沿ったもの、c)組織が活動する資金調達、地理的、地政学的、規制的環境などが含まれます。 中小企業は通常、大企業に比べて経営資源が乏しいため、バリューチェーンのステークホルダーとのエンゲージメントは、学習の共有、専門知識の構築、リスク管理の強化、環境への影響に対処するための行動において特に価値があります。エンゲージメントの例としては、環境に配慮した原材料調達を確立するためにサプライヤーと協力することや、環境の持続可能性と環境に優しい慣行について顧客を教育することなどが挙げられます。また、持続可能性に関する業界ネットワークに参加し、リソースを共有したり、ベストプラクティスや他の企業との協力の機会について話し合ったりすることもその一例です。環境問題に関してバリューチェーンとエンゲージメントしていない場合、CDPのデータ利用者は、なぜエンゲージメントしていないのか、また今後どのような計画を立てているのかを知りたいと考えています。
回答方法	以下の表に記入してください

		1 列目で「はい」 を選択した場合 に表示	1 列目で「いいえ…」のいずれかが選択されてい る場合に表示	1 列目で「はい」を選択した場合に表示	1 列目で「はい」を選 択した場合に表示
0	1	2	3	4	5
バリューチェーン のステークホルダ ー	環境課題に関す るこのステークホ ルダーとのエン ゲージメント	環境課題	環境課題に関してこのステークホルダーとエ ンゲージメントしない主な理由	エンゲージメントの種類	エンゲージメントの詳 細
サプライヤー	選択肢:: ・ はい ・ いいえ、しか し今後2年3 内にです ・ いいえ、また 今後2する 予定え、また 今後2する 力にそうする と いいもり	該当するものを すべて選択してく ださい: 気候変動 フォレスト 水 プラスチック [サプライヤー 列のみ表示]	選択肢: 私たちは生産者であり、サプライヤーがいない 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例:組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した その他、具体的にお答えください	 該当するものをすべて選んでください: キャパシティビルディング(「顧客」または「投資家および株主」の行には表示されていない] 財務的インセンティブ[顧客および投資家・株主の行には表示されていない] 情報収集[顧客および投資家・株主の行には表示されていない] イノベーションとコラボレーション 	文章記入欄[最大 2,500 文字]

		教育 情報共有[サプライヤーの行には表示 されていない]その他	
顧客			
投資家および株主			
その他のバリュー チェーン関係者 (具体的に			

協働の機会 [SCのみ]

(18.4) 特定の CDP サプライチェーンメンバーと協働できる、お互いに有益な環境関連のイニシアチブを回答してください。

質問 内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(5.12)
	環境課題に効果的に対処するには、往々にして協働の取り組みが必要です。この質問を通じて、貴組織は、環境リスクを低減し、かつ/ 又は貴組織と顧客の双方に利益をもたらす機会を実現するために、回答を要請しているサプライチェーンメンバーと協力できる方法を 提案することができます。また、貴社と顧客とのコミュニケーションを強化し、革新的な新たなパートナーシップを推進するためにも活 用できます。
	この表は、1 列目の「回答要請メンバー」で選択した顧客企業のみが、該当するデータを閲覧できるようになっています。回答要請メン バーを選択せずに回答を入力した場合、回答は誰にも閲覧できません。以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタン を使って行を追加することができます。

		2列目で「フォレス ト」を選択すると表 示される		ドロップダウンのオプショ ンは、2 列目と 4a 列目の 選択に依存して表示		ドロップダウンのオプションは、2 列目で選択された環境課題 に依存して表示
1	2	3	4a	4b	5	6

回答要請メンバー	イニシアティブ が関連する環 境課題	イニシアチブの対 象コモディティ [F のみ]	イニシアチブの力 テゴリー	イニシアチブの種類	イニシアチ ブの詳細	期待される効果
選択肢: • メンバーのドロップダウンリスト	該当するものをすべたさい: ・気はい: ・気はい・ウォーー	該当なだ ・ コイプニ示該 ・ コイリンが し	選・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	下のドロップダウンリストより選択	文章記入 欄[最大 2,500 字]	 該当するものをすべて選択してください: 生産性の向上による売上の増加 資源の利用と効率の改善 水質改善[Wのみ] ウォーター・スチュワードシップの向上【Wのみ 認証材使用の増加[Fのみ] バリューチェーン上流/下流の透明性の向上 単価の低下 森林減少および転換なしの素材に対する価格プレミアム [Fのみ] 顧客の排出量の削減(顧客のスコープ1および2) 事業活動の排出量(スコープ1と2)の削減 バリューチェーン下流排出量の削減(自社スコープ3) 顧客の業務上の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] 事業活動に伴う水の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] バリューチェーン下流の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] バリューチェーン下流の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] その他、具体的にお答えください

			8 列目で「ライフタイム CO ₂ 排出量と節水量の両方」また は「ライフタイム節水量のみ」 を選択した場合に表示され る。	
7	8	9	10	11

利益実現までの推定期間	このイニシアチブのライフタ イム CO₂ 換算および/また は節水量を見積もることが できますか?	推定ライフタイム CO2e 削減量	推定ライフタイム節水量(メガリットル)	説明してください
選択肢:	 選択肢: はい、ライフタイムCO₂ 排出量と節水量の両方 はい、ライフタイム CO₂e削減のみ はい、ライフタイム節水 量のみ いいえ 	数値記入欄[小数点以下 2 桁以 内で 0〜 999,999,999,999 の範囲 を入力]。	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0〜 999,999,999 の範囲を 入力]。	文章記入欄[最大 1,000字]

「行を追加]

認証

- コモディティ認証のカバー率を高める【Fのみ
- その他の認証、具体的に

製品・サービス提供の変更

- より多くのオンライン/バーチャルなサービス提供「CCのみ]
- 梱包の軽量化
- 水関連の影響を削減する[Wのみ]
- その他の商品・サービス提供の変更(具体的にご記入ください

サプライヤー業務の変更

- 製品やサービスのライフサイクルに与える影響を評価し、効率性を特定する
- エネルギー削減プロジェクトの実施「CCのみ」
- 再生可能エネルギーの購入比率を高める【CCのみ
- 事業における水効率を高める「Wのみ」
- その他のサプライヤー業務の変更(具体的にご記入ください)

コミュニケーション

- 表彰 外部表彰に一緒に応募する
- 共同事例研究またはマーケティング・キャンペーン
- その他のコミュニケーション(具体的に)

イニシアチブの種類(4b 列目)

物流の変化

- 物流のタイミングを変更する【CCのみ
- 輸送モードの変更(例: 航空から鉄道への切り替え)[CCのみ]
- ロジスティクスの統合【CCのみ
- ルート最適化「CCのみ]
- その他のロジスティクスの変更、具体的に

集団行動の促進

- 影響削減のため、流域の他の利用者と協力するよう顧客に呼びかける「Wのみ」。
- 景観または管轄区域のイニシアティブに協力するよう顧客を招待する [Fのみ]。
- その他の団体行動(具体的に

持続可能性評価との連携

- 顧客の目標や野心につながるよう目標を調整する
- 既存の持続可能性評価との連携
- その他、具体的に

トレーサビリティと透明性

- 既存のトレーサビリティ・システムを改善する「Fのみ」
- 新しいトレーサビリティ・システム[Fのみ]
- その他のトレーサビリティ・システム(具体的に

イノベーション

- 持続可能な生産を確保するための新しい技術を導入する[Fのみ]
- 上流の排出フットプリントが低い新製品またはサービス[CCのみ]
- 森林へのバリューチェーン上流からの影響がより少ない新しい製品またはサービス【Fのみ
- バリューチェーン上流での水への影響がより少ない新製品または新サービス[Wのみ]
- 顧客の事業活動の排出量を削減する新しい製品またはサービス[CCのみ]
- 顧客の業務上の水消費量を削減する新しい製品またはサービス[Wのみ]
- 顧客の製品・サービスのコモディティ消費量を削減する新しい製品・サービス[Fのみ]
- 顧客の製品/サービスの運用時の排出量を削減する新しい製品またはサービス[CCのみ]
- 包装の削減
- その他のイノベーション、具体的に

その他

• その他のイニシアチブの種類(具体的に

(18.5) 貴組織は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより、相互に有益な環境イニシアチブを既に実施しましたか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(5.13)
説明	環境課題に効果的に取り組むには、往々にして協働アクションが必要です。この質問では、組織がイニシアチブの実施を通じて共同で環境アクションに取り組む姿勢を示すことができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

	1列目で「いいえ」を選択した場合に表示される。		
1	2	3	
CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより実施された環境イニシアティブ	環境イニシアチブを実施しない主な理由	貴組織が環境イニシアチブを実施してい ない理由を説明してください。	
選択肢: はい いいえ、しかし今後2年以内に計画しています 今後2年間は予定していない	選択肢: 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例:組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 字]	

[固定列]

(18.5.1)相互に有益な環境イニシアチブの実施を促した CDP サプライチェーンメンバーを明記し、イニシアチブの情報を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、18.5の「CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより実施された環境イニシアチブ」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	変更なし(5.13.1)
説明	環境課題に効果的に取り組むには、しばしば協働アクションが必要です。この質問は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントによって実施されたイニシアチブの種類を示し、それらがどのように進展したか、またこれまでに見られた相互の利益について詳しく説明する機会を提供します。
回答方法	この表は、1 列目の「回答要請メンバー」で選択した顧客企業のみ、該当するデータを閲覧できるようになっています。回答要請メンバーを選択せずに回答を入力した場合、回答はどなたにも表示されません。以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

		2列目で「フォレスト」 を選択すると表示			ドロップダウンのオプ ションは、2 列目と 5a 列目の選択に依存 して表示		ドロップダウンのオプションは、2 列目で選 択された環境課題に依存して表示
1	2	3	4	5a	5b	6	7
回答要請メンバー	イニシアティブが 関連する環境課題	イニシアチブの対象コ モディティ [F のみ]	イニシアティ ブ ID	イニシアチブのカテゴリー	イニシアチブの種類	イニシアチブ の詳細	達成された利益
選択肢: メンバーのド ロップダウンリ スト	該当するものをす べて選択してくだ さい: 気候変動 フォレスト ウォーター	該当するものをすべて 選択してください: コモディティタグ によってドロップ ダウンメニューが 表示 該当なし	選択肢: [IDのドロッ プダウンメニ ュー]	 選択肢: 製品・サービス提供の変更 サプライヤー業務の変更 コミュニケーション イノベーション 	下のドロップダウンリ ストより選択	文章記入欄 [最大 2,500 字]	 該当するものをすべて選択してください: 生産性の向上による売上の増加 資源の利用と効率の改善 水質改善[Wのみ] ウォーター・スチュワードシップの向上 【Wのみ 認証材使用の増加[Fのみ]

	 物流の変化 共同アクションの促進 持続可能性評価との連携 トレーサビリティと透明性 その他、具体的にお答えください 	 バリューチェーン上流/下流の透明性の向上 単価の低下 森林減少および転換なしの素材に対する価格プレミアム [Fのみ] 顧客の排出量の削減(顧客のスコープ1および2) 事業活動の排出量(スコープ1と2)の削減 バリューチェーン下流排出量の削減(自社スコープ3) 顧客の業務上の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] 事業活動に伴う水の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] バリューチェーン下流の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] バリューチェーン下流の取水量および/または消費量の削減[Wのみ]
--	---	--

	8 列目で「はい、排出削減と節水」または「はい、排出削減のみ」を選択 した場合に表示される。	8列目で「はい、排出削減と節水」または「はい、節水のみ」を選択した場合に表示される。		
8	9	10	11	12
報告年における排出削 減量または節水量の数 値を提示できますか	報告年における推定排出削減量(トン CO2e)	報告年の推定節水量(単位:メガリットル)	このイニシアチブの成功 はどのように測定され るのか説明してくださ い。	CDP サプライチェーンメン バーが、社外とのコミュニケ ーションでこの活動を取り上 げても構いませんか
選択肢:: 排出削減と節水 排出削減のみ 節水のみ いいえ	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内 で 0~999,999,999,999 の範 囲を入力]。	文章記入欄[最大 1,500 字]	選択肢: はい いいえ

[行を追加]

イニシアチブの種類(5b 列目)

認証

- コモディティ認証のカバー率を高める【Fのみ
- その他の認証、具体的に

製品・サービス提供の変更

- より多くのオンライン/バーチャルなサービス提供「CCのみ]
- 梱包の軽量化
- 水関連の影響を削減する[Wのみ]
- その他の商品・サービス提供の変更(具体的にご記入ください

サプライヤー業務の変更

- 製品やサービスのライフサイクルに与える影響を評価し、効率性を特定する
- エネルギー削減プロジェクトの実施「CCのみ」
- 再生可能エネルギーの購入比率を高める【CCのみ
- 事業における水効率を高める「Wのみ」
- その他のサプライヤー業務の変更(具体的にご記入ください

コミュニケーション

- 表彰 外部表彰に一緒に応募する
- 共同事例研究またはマーケティング・キャンペーン
- その他のコミュニケーション(具体的に)

イノベーション

- 持続可能な生産を確保するための新しい技術を導入する[Fのみ]
- 上流の排出フットプリントが低い新製品またはサービス[CCのみ]
- 森林へのバリューチェーン上流からの影響がより少ない新しい製品またはサービス【Fのみ
- バリューチェーン上流での水への影響がより少ない新製品または新サービス[Wのみ]
- 顧客の事業活動の排出量を削減する新しい製品またはサービス[CCのみ]
- 顧客の業務上の水消費量を削減する新しい製品またはサービス[Wのみ]
- 顧客の製品・サービスのコモディティ消費量を削減する新しい製品・サービス[Fのみ]
- 顧客の製品/サービスの運用時の排出量を削減する新しい製品またはサービス[CCのみ]
- 包装の削減
- その他のイノベーション、具体的に

物流の変化

- 物流のタイミングを変更する【CCのみ
- 輸送モードの変更(例: 航空から鉄道への切り替え)[CCのみ]
- ロジスティクスの統合【CCのみ
- ルート最適化[CCのみ]
- その他のロジスティクスの変更、具体的に

集団行動の促進

- 影響削減のため、流域の他の利用者と協力するよう顧客に呼びかける [Wのみ]。
- 景観または管轄区域のイニシアティブに協力するよう顧客を招待する「Fのみ」。
- その他の団体行動(具体的に

持続可能性評価との連携

- 顧客の目標や野心につながるよう目標を調整する
- 既存の持続可能性評価との連携
- その他、具体的に

トレーサビリティと透明性

- 既存のトレーサビリティ・システムを改善する[Fのみ]
- 新しいトレーサビリティ・システム[Fのみ]
- その他のトレーサビリティ・システム(具体的に

その他

• その他のイニシアチブの種類(具体的に

モジュール 19:中小企業の環境パフォーマンス - 連結アプローチ

連結アプローチ

(19.1)回答を通じて報告される気候関連の影響を判断するために貴組織が使用する連結アプローチを選択してください。この選択肢は、貴組織の GHG インベントリを統合するために選択したアプローチと一致する必要があることにご注意ください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(6.1)
	連結アプローチとは、環境影響(温室効果ガス排出量など)を組織に関連付ける方法です。データ利用者が環境影響と貴組織の事業活動との関係を解釈するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
使用した連結アプローチ	連結アプローチを選択した根拠を示す。
選択肢: 財務管理 業務管理 株式所有 アプローチは不明 その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[固定列]

モジュール 20: 中小企業の環境パフォーマンス - 気候変動モジュールの概要

モジュール概要

モジュール概要

このモジュールには、排出量算定方法論、排出除外、排出インベントリと内訳、エネルギー関連活動、送配電、生産データ、原単位と効率指標に関する質問が含まれています。また、CDPサプライチェーンメンバーからのリクエストに回答する組織にのみ表示される、顧客への排出量の割り当てに関する質問も含まれています。

排出量を評価することは、あらゆる組織が気候への悪影響を理解し、それを軽減するための適切な措置を講じるために実行する必要がある重要な第一歩です。 そうすることは、資金調達、競争力と回復力の確保、規制とサプライヤーの要件の遵守にとってますます重要になっています。

これらの領域を開示することで、組織は環境への影響を評価する取り組みを実証し、業務活動に関連する排出量を削減するための取り組みと取り組みを強調することができます。

排出方法と除外事項

(20.1)組織の温室効果ガス(GHG)排出量を評価していますか。排出量計算ツールの助けを借りて、排出量を測定したり推定したりすることもできます。

質問内容	
完全版質問書との整合性	新規質問、質問の修正(1.4、7.3)
説明	排出量を評価することは、あらゆる組織が気候への悪影響を理解し、それを軽減するための適切な措置を講じるために実行する必要がある重要な第一歩です。 そうすることは、資金調達、競争力と回復力の確保、規制とサプライヤーの要件の遵守にとってますます重要になっています。 この質問は、データ ユーザーが、組織がこのデータを収集しているかどうか、また、まだプロセスを開始していない組織の理由を理解するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

		行「スコープ2(購入した電気、熱、蒸気、または 冷熱からの間接排出)」の列1で「はい…」オプションが選択されている場合にのみ表示されます。 「スコープ2の数値を報告していますが、どの基準を使用したかはわかりませんは、「スコープ2 (間接排出)の行」の列1で「はい、一般的なツールを使用して推定しています。」を選択した場合にのみ表示されます。	2列目で「ロケーション基準に基づく数値を報告 しています」オプションが選択されている場合に 表示されます	列1で「はい…」 オプションが選 択されている 場合に表示さ れます	列4で「はい」を選 択した場合に表示 されます
0	1	2	3	4	5
排出範囲	排出量を算定しましたか	スコープ2アプローチ	スコープ2、マーケット基準の数字を報告しない主 な理由	排出量を算定 する際に大き な障害や課題 があったかど うかを記入し てください。	排出量算定における主な障壁や課題について説明してください。
スコープ1(所有ま		該当なし	該当なし	選択:	文章記入欄 [最大
たは管理する活動からの直接排出)	 はい、社内または有料の リソースを使用して計算 しています はい、一般的なツールを 使用して計算しています いいえ、しかし今後2年以 内に予定しています いいえ、今後2年間は予定 していません 			• はい • いいえ	2,500 文字]
スコープ2(購入した電気、熱、蒸気、冷熱からの間接排出)		選択: • スコープ2のロケーション基準の数値を報告しています • スコープ2のマーケット基準の数値を報告しています • スコープ2のロケーション基準とマーケット基準の両方を報告しています • スコープ2の数値を報告していますが、どの基準を使用したかはわかりません	 選択肢: 電力供給事業者の排出原単位または残余ミックスの排出原単位が利用可能な場所での操業はなく、マーケット基準のスコープ2の値を報告できません 電力供給事業者の排出原単位または残余ミックスの排出原単位が利用可能な場所での操業はありますが、マーケット基準のスコープ2の値を報告できません 		

スコープ3(間接排	該当なし	該当なし	
出)			
バリューチェーン上			
流・下流			

4列目で「はい」を選択した場合に表示	1列目で「いいえ」が選択されている場合に表示	1列目で「はい…」オプションが選択され ている場合に表示	8列目で「はい」を選択した場合に表示され ます
6	7	8	9
課題の管理や解決に役立った、または役立つと思 われる主な対策	排出量を算定しない主な理由	過去の報告年の排出量データを回答しますか	排出量データについて回答する過去の 報告年数
該当するものをすべて選択:	選択:	選択肢: • はい • いいえ	選択肢: 1年 2年 3年 4年 5年

[固定行]

(20.2)活動データの収集と排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法論の名前を選択します。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 20.1 のいずれかの行の 1 列目で「はい」が選択されている場合に表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(17.2)
説明	CDP データ ユーザーは、排出量の計算にどのような方法が使用されたかを理解する必要があります。
回答方法	以下の選択肢から該当するものをすべて選んでください: ABI Energia Linee Guida エネルギーの使用の合理化等に関する法律 米国石油協会、石油および天然ガスに関する GHG 排出方法の概要、2009 年 オーストラリア - 国家温室効果ガスおよびエネルギー報告法 Bilan Carbone ブラジル GHG プロトコル プログラム カナダ石油生産者協会、温室効果ガス排出量の計算、2003 年 中国企業省エネルギーおよび GHG 管理プログラム Defra(環境食糧農林省)環境報告ガイドライン:2019 年の簡素化されたエネルギーと炭素報告ガイダンスを含む ENCORD:建設 CO2 換算測定プロトコル エネルギー情報局 1605(b) カナダ環境省、電気公共事業に対する六フッ化硫黄(SF6)排出量評価および報告プロトコル エネルギー情報局 1605(b) カナダ環境省、アルミニウム生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、アルミニウム生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、アン生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、一次鉄および鋼鉄生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、一次鉄および鋼鉄生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、一次鉄および鋼鉄生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、一次鉄および網鉄生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、一次鉄および網鉄生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、一次鉄および網鉄生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、一次まびは新光、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、金属鉱業、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、金属鉱業、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、金属鉱業、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、金属鉱業、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、金属鉱業、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、金属鉱業、温室効果ガス持工量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、金属鉱業、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、金属鉱業、温室効果ガス時出量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、会属鉱業、温室効果ガス持出量推定ガイダンスマニュアル ・カナダ環境省、会属の業人会属なが表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表

- 欧州連合排出権商取引システム(EU ETS):監視および報告規制(MMR) 航空機運行に関する一般的ガイダンス
- フランスの企業による温室効果ガス排出量評価方法(ADEME 2016)
- 金融向け炭素会計パートナーシップ(PCAF)
- 香港環境保護省、建物の温室効果ガス排出および除去に関する説明および報告のガイドライン、2010年
- ICLEI 地方自治体 GHG プロトコル
- IEA 燃料燃焼からの CO2 排出量
- インド GHG インベントリ プログラム
- 国際ワイン業界温室効果ガスプロトコルおよび説明ツール
- 国家温室効果ガス インベントリに関する IPCC ガイドライン、2006 年
- IPIECA の GHG 排出量の報告に関する石油業界ガイドライン、2003 年
- IPIECA の GHG 排出量の報告に関する石油業界ガイドライン、第 2 版、2011 年
- ISO 14064-1
- 地球温暖化対策推進法(日本)
- 韓国温室効果ガスおよびエネルギー目標管理システム運用ガイドライン
- 企業向けの温室効果ガスを算定・報告するための中国国家発展改革委員会(NDRC)ガイダンス(試行版)
- ニュージーランド 自発的、企業温室効果ガス報告に関するガイダンス
- フィリピン温室効果ガス説明および報告プログラム(PhilGARP)
- Programa GEI Mexico
- 第173-IV 条に基づいた重大な間接排出量の報告に関する勧告(ADEME 2018)
- 地域温室効果ガスイニシアチブ(RGGI)モデル規則
- スマート フライト センター:GLEC 物流排出方法に関する枠組み
- 台湾 GHG 削減法
- タイ温室効果ガス管理組織:組織に対するカーボンフットプリント国家ガイドライン
- 気候レジストリ:電力部門(EPS)プロトコル
- 気候レジストリ:一般的報告プロトコル
- 気候レジストリ:地方自治体運用(LGO)プロトコル
- 気候レジストリ:石油・天然ガス プロトコル
- クール ファーム ツール
- GHG 指標:企業および非営利団体向け温室効果ガス排出量の計算に関する UNEP(国際環境計画)ガイドライン
- GHG プロトコル:事業者の排出量の算定及び報告の基準(改訂版)
- GHG プロトコル農業ガイダンス:農業部門に関する事業者の排出量の算定及び報告の基準の解釈
- GHG プロトコル:公共部門基準
- GHG プロトコル:スコープ 2 ガイダンス

 GHG プロトコル:事業者バリューチェーン(スコープ 3)基準 東京キャップ・アンド・トレード・プログラム Toitu 炭素削減プログラム Toitu カーボンゼロプログラム US EPA 企業気候リーダーシップセンター:冷蔵、空調、消火、および工業用ガスから直接的漏洩による排出 US EPA 企業気候リーダーシップセンター:イベントや会議からの間接的排出 US EPA 企業気候リーダーシップセンター:購入電力からの間接的排出 US EPA 企業気候リーダーシップセンター:定常燃焼源からの直接的排出 US EPA 企業気候リーダーシップセンター: 移動燃焼源からの直接的排出 US EPA 義務的温室効果ガス報告規則 US EPA 排出・発電情報統合データベース(eGRID) VfU (Verein fur Umweltmanagement) 指標規格 WBCSD:セメント CO2 およびエネルギープロトコル 世界鉄鋼協会 CO2 排出量データ収集ガイドライン その他、具体的に記載してください
● とかめ調励会でのという。 ● その他、具体的に記載してください

(20.3)CDP 回答に含まれている事業体のスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 の排出源(施設、特定の温室効果ガス、活動、地域など)のうち、情報開示には含まれていないものはありますか。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 20.1 のいずれかの行の 1 列目で「はい」が選択されている場合に表示されます。
完全版質問書との整合性	軽微な修正(7.4)
	場合によっては、すべての排出源のデータを収集するのが困難な可能性があります。このことが当てはまり得る状況には、データ収集が困難または信頼できない国/地域または小さな施設の排出源を含みます。合併、買収および投資引き上げを含む組織に対する構造的な変更も、排出量データが貴社の情報開示に含まれない理由になり得ます。この質問によって、企業はこれらの排出源が情報開示に含まれない場所を報告します。この結果として、報告した排出量インベントリの透明性をデータ利用者に提供します。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します:

(20.3.1) CDP 回答に含める事業体に起因するスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 の排出源の詳細であって、情報開示には含まれていないものについて記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、20.3で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
完全版質問書との整合性	軽微な修正(7.4.1)
	場合によっては、すべての排出源のデータを収集するのが困難な可能性があります。このことが当てはまり得る状況には、データ収 集が困難または信頼できない国/地域または小さな施設の排出源を含みます。合併、買収および投資引き上げを含む組織に対する構 造的な変更も、排出量データが貴社の情報開示に含まれない理由になり得ます。この質問によって、企業はこれらの排出源が情報開 示に含まれない場所を報告します。この結果として、報告した排出量インベントリの透明性をデータ利用者に提供します。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

	「スコープ 2(アプローチ不明)」は、20.1 の 2 列目で「スコープ 2 の数値を報告しているが、 どのアプローチが使用されたか不明」が選択さ れている場合にのみ表示	プションを選択した場	2列目で「スコープ2(ロ ケーション基準)」オプシ ョンを選択した場合に 表示	2列目で「スコープ2(マーケット基準)」オプションを 選択した場合に表示	列で「スコープ2(アプロ ーチ不明)」オプションが 選択されている場合に 表示	3:…」オプションを選択
1	2	3	4	5	6	7
除外する排出源			除外する排出源のスコ ープ2(ロケーション基 準)との関連性について	除外する排出源のスコー プ2(マーケット基準)との 関連性について	ープ2(アプローチ不明)	除外する排出源のスコ ープ3との関連性につ いて

文章記入欄[最大2,500文字] *スコープ1 *スコープ2(ロケーション基準) *スコープ2(マーケット基準) *スコープ2(アプローチ不明) *スコープ3:購入した商品およびサースコープ3:資本財 *スコープ3:燃料およびエネルギー門コープ1または2に含まれないもの) *スコープ3:上流の輸送および物流 *スコープ3:上流の輸送および物流 *スコープ3:出張 *スコープ3:近業員の通勤 *スコープ3:近業員の通勤 *スコープ3:下流の輸送および物流 *スコープ3:販売製品の加工 *スコープ3:販売製品の使用 *スコープ3:下流のリース資産 *スコープ3:下流のリース資産 *スコープ3:下流のリース資産 *スコープ3:下流のリース資産 *スコープ3:大変のリース資産 *スコープ3:大変の地(上流) *スコープ3:その他(上流) *スコープ3:その他(上流) *スコープ3:その他(下流)	 排出量に関連性があるが、まだ計算されていない 排出量は関連性があるが、まだ計算されていない 排出量は関連性があり、計算されているが、まだ開示されていない 最近買収または合併したために除外された排出量 排出量を評価していない 	 排出量に関連性があるが、まだ計算されていない 排出量は関連性があり、計算されているが、まだ開示されていない 最近買収または合併したために除外された排出量・排出量を評価し 	• 最近買収または合併した ために除外された排出量	排出量に関連性はない排出量に関連性があるが、まだ計算されていない	るが、まだ計算され ていない
---	---	--	------------------------------	---	-------------------

3~7列目で「最近の買収また は合併により除外された排出 量」オプションが選択されてい る場合に表示	3~7列目で「最近の買収または合併 により除外された排出量」または「排 出量は評価されていない」以外のオ プションが選択	7列目で「最近の買収または合併により除 外された排出量」または「排出量は評価さ れていない」以外のオプションを選択した 場合にのみ表示		3~7列目で「最近の買収または合併により除外された排出量」または「排出量は評価されていない」以外のオプションを選択した場合にのみ表示
8	9	10	11	12
買収または合併の完了日	この除外された排出源がスコープ 1+2排出量全体に占める割合の推 定値	この除外された排出源がスコープ3排出量全体に占める割合の推定値	このソースが除外される理由 を説明してください	この除外された排出源が占める排出量の割合をどのように推定したか説明してください。
[日/月/年]	数値フィールド [小数点以下 1 桁 で 0 ~ 100 の値を入力]	数値フィールド [小数点第 1 位までの 0 ~ 100 の値を入力]	テキストフィールド [最大 2,500 文字]	テキストフィールド [最大 2,500 文字]

スコープ 1、2、3 の排出インベントリ

(20.4) 貴組織のスコープ 1 全世界総排出量は、何トン CO2e でしたか。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 20.1 の行「スコープ 1 (所有または管理する活動からの直接排出)」の 1 列目で「はい」が選択されている場合に表示されます。
完全版質問書との整合性	軽微な修正(7.6)
説明	排出量を報告することは、環境への悪影響を理解し、削減するための前提条件です。この質問は、組織が直接排出量からカーボン・フットプリントを測定
	していることを 確認 することを目的としています。
回答方法	以下の表に記入してください

			20.1の行「スコープ 1 (所有または管理 する活動からの直接排出)」で「はい、計算 には社内または有料のリソースを使用し ます」が選択されている場合に表示
0	1	2	3
年	スコープ1全世界総排出量(トンCO ₂ e)	終了日	算定方法の詳細
報告年	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[このセルはポータル では表示されない]	文章記入欄[最大2,500文字]
過去1年目20.1の行「スコープ 1 (所有または管理する活動からの直接排出)」での行で「1年」「2年」「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]	数値フィールド [0~999,999,999,999 の範囲を、小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 入力してください]	[DD/MM/YYYY] まで	
過去2年間 20.1の行「スコープ 1 (所有または管理する活動からの直接排出)」での行で「2年」「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示されます]	数値フィールド [0~999,999,999,999 の範囲を、小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 入力してください]	[DD/MM/YYYY] まで	
過去3年目20.1の行「スコープ 1 (所有または管理する活動からの直接排出)」での行で「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY] まで	

過去4年目20.1の行「スコープ 1 (所有または管理する活動からの直接排出)」での行で「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY] まで	
過去5年目20.1の行「スコープ 1 (所有または管理する活動からの直接排出)」での行で「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY] まで	

(20.5) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量は、何トン CO2e でしたか。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 20.1 の行「スコープ 2(購入した電気、熱、蒸気、または冷熱からの間接排出)」の 1 列目で「はい」が選択されている場合に表示されます。
完全版質問書との整合性	軽微な修正(7.7)
説明	排出量を報告することは、環境への負の影響を理解し削減するための前提条件です。この質問では、組織が購入または取得した電力、蒸気、熱、冷熱からの排出量を測定していることを確認するものです。
回答方法	以下の表に記入してください

	20.1の2列目で「スコープ2ロケーション基準の数値を報告しています」または「スコープ2ロケーション基準とマーケット基準の数値の両方を報告しています」を選択した場合に表示	20.1の2列目で「スコープ2マーケット基準の数値を報告しています」または「スコープ2のロケーション基準とマーケット基準の数値の両方を報告しています」を選択した場合に表示	20.1の2列目で「スコープ2 の数値を報告しているが、ど のアプローチが使用されたか 分からない」を選択した場合 に表示されます。		20.1の列1および「スコープ2(購入した電気、熱、蒸気、または冷却からの間接排出)」の行で「はい、計算には社内または有料のリソースを使用します」を選択した場合に表示されます。
0	1	2	3	4	5
年	スコープ2ロケーショ ン基準、全世界総排出 量(トンCO ₂ e)	スコープ2マーケット 基準、全世界総排出量 (トンCO ₂ e)(該当す る場合)	スコープ2(アプローチ不明)、 全世界総排出量(トンCO ₂ e) (該当する場合)	終了日	算定方法の詳細
報告年	下3桁まで、カンマなし で0~	桁まで、カンマなしで0~ 999,999,999,99の	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0〜999,999,999,99の範囲を入力]。	[このセルはポー タルでは表示さ れない]	文章記入欄[最大2,500 文字]
過去1年目20.1の行「スコープ2(購入した電気、熱、蒸気、または冷却からの間接排出)」での行で「1年」「2年」「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下 3桁まで、カンマなしで0 ~ 999,999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3 桁まで、カンマなしで0~ 999,999,999,99の 範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY] まで	
過去2年間 20.1の行「スコープ2(購入した電気、熱、蒸気、または冷却からの間接排出)」の行で「2年」「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示されます]	数値記入欄[小数点以下3 桁まで、カンマなしで0~ 999,999,999,99の 範囲を入力]。	桁まで、カンマなしで0〜 999,999,999,99の 範囲を入力]。	まで、カンマなしで0~ 999,999,999,999の範囲 を入力]。	[DD/MM/YYYY] まで	
過去3年目20.1の行「スコープ2(購入した電気、熱、蒸気、または冷却からの間接排出)」での行で「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下 3桁まで、カンマなしで0 ~ 999,999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3 桁まで、カンマなしで0〜 999,999,999,99の 範囲を入力]。	まで、カンマなしで 0 ~ 999,999,999,999の範囲 を入力]。	[DD/MM/YYYY] まで	
過去4年目20.1の行「スコープ2(購入 した電気、熱、蒸気、または冷却からの 間接排出)」での行で「4年」「5年」を選	数値記入欄[小数点以下 3桁まで、カンマなしで0 ~	数値記入欄[小数点以下3 桁まで、カンマなしで0〜 999,999,999,999の	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~ 999,999,999,999の範囲	[DD/MM/YYYY] まで	

択した場合のみ表示]	999,999,999,999	範囲を入力]。	を入力]。		
	の範囲を入力]。				
過去5年目20.1の行「スコープ2(購入	数值記入欄[小数点以下	数值記入欄[小数点以下3	数值記入欄[小数点以下3桁	[DD/MM/YYYY]	
した電気、熱、蒸気、または冷却からの	3桁まで、カンマなしで0	桁まで、カンマなしで0~	まで、カンマなしで0~	まで	
間接排出)」での行で「5年」を選択した	~	999,999,999,999の	999,999,999,999の範囲		
場合のみ表示]	999,999,999,999	範囲を入力]。	を入力]。		
	の範囲を入力]。				

(20.6)14.7 で報告された国/地域による売上の割合はどれくらいですか?

質問内容	
他の質問との関連性	質問 20.1 の行「スコープ 1 (所有または管理する活動からの直接排出)」または「スコープ 2 (購入した電気、熱、蒸気、または冷熱からの間接排出)」で「いいえ」が選択されている場合に表示されます。
完全版質問書との整合性	SME 版固有の質問
説明	組織がスコープ 1 とスコープ 2 の両方の排出量を報告できない場合、この質問により、データ利用者は売上の地理的内訳を把握し、これは、排出量のモデル化に利用できます。。
回答方法	以下の表に記入してください

1	2
国/地域	国/地域で生み出された売上の割合
選択:	数値フィールド [0~100 の数値を小数点以下 2 桁まで入力] %
[国/地域ドロップダウンリスト]	

[行を追加する]

(20.7) 貴組織のスコープ 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 20.1 の行「スコープ 3(バリュー チェーン上流/下流における間接排出)」またはで「はい」が選択されている場合に表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.8)

説明	ほとんどの組織にとって、排出量の大部分は、直接操業を超えたバリューチェーンの段階で発生しています。この質問により、データ利用者は、
	企業の算定プロセスの完璧さを評価し、また、組織がどのように排出量のフットプリントを分析しているかを理解することができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

			20.1 の「スコープ 3(バリュー チェーン 上流/下流における間接排出)」の行で 「はい、計算には社内または有料のリソ ースを使用しています」が選択されてい る場合、または本質問の 1 列目で「関連 性なし。理由の説明」が選択されている 場合に表示
0	1	2	3
スコープ 3 カテゴリー	評価状況	報告対象年の排出量(トンCO2e)	説明してください
購入した商品とサービス	選択肢: 関連性あり、算定済み 関連しているが、算定していない 関連性なし、算定済み 関連性がない。理由の説明 関連性を評価していない	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	文章記入欄[最大 2,400 文字]
資本財			
燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1、2 に含まれない)			
上流の輸送および物流			
操業で発生する廃棄物			
出張			
従業員の通勤			
上流リース資産			

下流の輸送および物流		
販売製品の加工		
販売製品の使用		
販売製品の生産終了処理		
下流リース資産		
フランチャイズ		
投資		
その他(上流)		
その他(下流)		

(20.7.1) 前年のスコープ 3 排出量データを開示するか再度記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問20.1の行「スコープ 3(バリュー チェーン上流/下流における間接排出)」で8列目「過去の報告年度の排出データを提供しますか」で、「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.8.1)
説明	有意義な排出量データ比較のための前提条件は、経時的な一貫したデータセットです。この質問によって、企業はCDPに過去に提供したスコープ3排出量データをのデータを再掲することが可能になります。例えば、その履歴データが現在の組織バウンダリを反映するようにします。また、初回回答者は報告年前の5年間のスコープ3排出量データを記入することが可能になります。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3	4	5	6
年		スコープ3:購入した商品とサービ ス(トンCO2e)		スコープ3:燃料・エネルギー関連活動 (スコープ1または2に含まれないも の)(トンCO2e)	スコープ3:上流の輸送および物流 (トンCO2e)
過去1年目20.1の行「スコープ 3 (バリュー チェーン上流/下流における間接排出)」の行で「1年」「2 年」「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]		999,999,999の範囲を 入力]	999,999,999,999の範囲を入力]	999,999,999,999 の範囲を、小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力してください]	数値フィールド[0〜 999,999,999,99の範囲を入 力] 小数点以下3桁まで、カンマは 使用しないでください]
過去2年間 20.1の行「スコープ 3 (バリュー チェーン上流/下流における間接排出)」の行で「2年」「3 年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示されます]					
過去3年目20.1の行「スコープ 3 (バリュー チェーン上流/下流における間接排出)」の行で「3年」「4 年」「5年」を選択した場合のみ表示]					
過去3年目20.1の行「スコープ 3 (バリュー チェーン上流/下流における間接排出)」の行で「4年」「5 年」を選択した場合のみ表示]					
過去3年目20.1の行「スコープ 3 (バリュー チェーン上流/下流における間接排出)」の行で「5年」を選択した場合のみ表示]					

7	8	9	10	11	12
スコープ3:操業から排出され る廃棄物(トンCO2e)		スコープ3:従業員の通勤(トン CO2e)		スコープ3:下流の輸送および物通 (トンCO2e)	スコープ3:販売製品の加工(トン CO2e)
999,999,999,999の範	999,999,999,999 小数点以下3桁まで、カ ンマは使用しないでくだ	999,999,999,999の範囲 を入力] 小数点以下3桁まで、カンマは使	999,999,999,999の範囲 を入力]	999,999,999,999 の範囲を、 小数点以下 3 桁まで、カンマなし で入力してください]	数値フィールド[0〜 999,999,999,999の範囲 を入力] 小数点以下3桁まで、カンマは使 用しないでください]

13	14	15	16	17	18	19	20
			スコープ3:フランチャイズ (トンCO2e)			スコープ3:その他(下 流)(トンCO2e)	コメント
999,999,999,9 99の範囲を入力]	999,999,999,999 小数点以下3桁まで、カンマ	999,999,999,999 の範囲を入力] 小数点以下3桁ま で、カンマは使用	999,999,999,999の 範囲を入力] 小数点以下3桁ま で、カンマは使用し ないでください]	[0~ 999,999,999 ,999 の範囲 を、小数点以下 3 桁まで、カンマ	まで、カンマは使		テキストフィールド [最大 2,400 文字]

(20.8)報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。

質問内容				
他の質問との関連性 この質問は、質問20.1の各行の1列目で「はい、計算にはカスタマイズされた社内リソースまたは有料リソースを使用しま 択した場合にのみ表示されます。				
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.9)			
説明	CDPは、環境報告におけるグッドプラクティスとして、第三者による検証と保証を支持しています。この質問は、報告されたデータの正確性について、データ利用者に更なる信頼を与えるものです。			
回答方法	以下の表に記入してください:			

20.1の列1で「はい・・・」オプションのいず れかを選択すると、行が表示		2列目で「第三者による検証または保証プロセス が実施されている」を選択した場合に表示
1	2	3
範囲	検証/保証状況	検証/保証の証明書を添付する(任意)
スコープ1(所有または管理する活動からの直接排出)	選択:	[添付機能]
スコープ2(購入した電気、熱、蒸気、冷熱からのロケーション基準またはマーケット基準の間接排出)	選択: 第三者による検証や保証なし 第三者による検証または保証プロセスが実施されている	[添付機能]
スコープ3(バリューチェーン上流/下流における間接排出)	選択:	[添付機能]

[固定行]

(20.9)報告年における排出量総量(スコープ 1+2)は前年と比較してどのように変化しましたか。

質問内容				
他の質問との関連性	では この質問は、20.1の1列目の「スコープ1(所有または管理する活動からの直接排出)」または「スコープ2(購入した電気、熱、蒸気、ま冷熱からの間接排出)」の行で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。			
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.10, 7.10.1)			
説明	投資家やデータ利用者は、企業が年々排出量を削減しているかどうかを理解することに関心があります。スコープ1,2の合計の変化を前年比で調べる場合、データ利用者は、これらの変化に寄与した要因について関心を持っています。			
回答方法	以下の表に回答してください。			

回答オプション

次の表に記入してください。

	列1で「増加」または「減少」を選択した場合に表示されます		
1	2	3	
全世界総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化していますか	理由	説明してください	
選択:	該当するものをすべて選択:	テキストフィールド [最大 2,000 文字]	

[固定行]

排出量の内訳

(20.10) 事業活動別のスコープ 1 全世界総排出量の内訳を示してください。

質問内容				
完全版質問書との整合性	変更なし(7.17.3)			
説明	活動別の排出量を報告することで、将来の規制や気候関連問題に関連するビジネスリスクをより深く理解することができ、組織は、事業活動に関連する排出量を削減する潜在的な機会を特定することができます。			
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。			

1	2		
活動	スコープ 1 排出量 (トンCO2e)		
	数値フィールド [0~999,999,999,999 の範囲を、小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力してください]		

[行を追加する]

(20.11) 事業活動別のスコープ 2 全世界総排出量の内訳を示してください。

質問内容				
他の質問との関連性	この質問は、20.1「スコープ 2 (購入した電気、熱、蒸気、または冷熱からの間接的排出)」の行で「はい、計算にはカスタマイズされた社内リソースまたは有料リソースを使用します」が選択された場合にのみ表示されます。			
完全版質問書との整合性	変更なし(7.20.3)			
説明	活動別の排出量を報告することで、将来の規制や気候関連問題に関連するビジネスリスクをより深く理解することができ、組織は、事業活動に関連する排出量を削減する潜在的な機会を特定することができます。			
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。			

1	2	3
活動	スコープ2、ロケーション基準(トンCO2e)	スコープ2、マーケット基準(トンCO2e)
		数値フィールド[0~99,999,999,999の 数字を最大3桁で入力] [小数点以下はなし、カンマなし]

[行を追加する]

(20.12)本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、貴組織の排出量を以下に示す顧客に割り当ててください。

質問内容	質問内容				
完全版質問書との整合性	変更なし(7.26)				
説明	この情報は、回答を要請するサプライチェーンメンバーに対して、報告期間中に販売された商品やサービスに関連する排出量を明確にするものです。このことは、排出量配分の透明性、排出量配分の検証、使用された方法論をサポートします。また、この質問は、どのようにデータを取得し、どのようにサプライチェーンメンバーに割り当てられた排出量の値を導き出したかについての透明性を示します。				
回答方法	この表は、1 列目で選択した顧客(「回答要請メンバー」)のみが、関連するデータを見ることができるように設計されています。回答要請メンバーを選択せずに回答を入力した場合、回答は誰にも表示されません。 以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下にある「行の追加」ボタンで行を追加することができます。				

	「スコープ2:アプローチ 不明」は、質問20.1で 「スコープ2の数値を報 告しているが、どのアプ ローチが使用されたか 分からない」が選択され ている場合に表示	2列目で「スコープ3」を選択した場合に表示 ドロップダウンは、20.7 で「関連性あり、計算済み」ま たは「関連性なし、計算済み」が選択された行に基づい て表示		4 列目で「事 業ユニット(子 会社)」または 「施設」を選択 した場合に表 示		6 列目で「割り当て いる場合	て不要」オプション 合は表示されませ	
1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答要請メンバー	排出のスコープ	スコープ 3 カテゴリー	割当レベル	割当レベルの詳細	割当方 法	提供された商品 /サービスの市 場価値または数 量の単位	回答要請メ ンバーに提 供した商品 /サービス の市場価値 または数量	排出量(トン CO ₂ e)
選択肢: • メンバーのドロップ ダウンリスト	選択肢: •スコープ 1 •スコープ 2:ロケーション基準 •スコープ 2:マーケット基準 •スコープ 2:アプローチ不明 •スコープ 3	該当するものをすべて選んでください: ・カテゴリー1:購入品およびサービス ・カテゴリー2:資本財 ・カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれないもの) ・カテゴリー4:上流の輸送と物流 ・カテゴリー5:操業中に発生する廃棄物 ・カテゴリー6:出張 ・カテゴリー8:上流リース資産 ・カテゴリー9:下流の輸送と物流 ・カテゴリー9:下流の輸送と物流 ・カテゴリー11:販売製品の加工 ・カテゴリー11:販売製品の使用 ・カテゴリー12:販売製品の生産終了処理 ・カテゴリー13:下流リース資産 ・カテゴリー15:投資 ・その他(上流) ・その他(下流)	選択肢: •会社的 •事業ユニット (子会社) •施設 •商品	文章記入欄 [最大 500 文 字]	下のドロ ップダウ ンリスト より選択	下のドロップダ ウンリストより 選択	数値記入欄 [小数点以下 4桁以内で 0~ 999,999, 999,999 の数値を入 力]。	数値記入欄 [小数点以下 4桁以内で 0~ 999,999, 999,999 の数値を入 力]。

10	11	12	2 13 14		
不確実性(± %)	主な排出源	第三者検証の 実施	GHG 発生源をどのように特定したのか、このプロセスの主な制限事項や仮定を含めて説明してください。	公表されている情報を使用した場合は、参考文献を記載してください。	
パーセンテージ 欄[0~100 の パーセンテージ を入力する]	之,500人 _字]	選択肢: • はい • いいえ	文章記入欄[最大 5,000 文字]	文章記入欄[最大 5,000 文字]	

[行を追加する]

	割当方法(6列目)				
	利用できる一次データの種類により、割り当ては必要ありません 二次データを使用したため、割り当ては必要ない	•	購入した単位数に基づいた割り当て 面積に基づいた割り当て		
.	購入した製品の質量に基づいた割り当て	•	別の物理的要因に基づいた割り当て		
•	購入した製品の量に基づいた割り当て	•	購入した製品の市場価値に基づいた割り当て		
•	購入した製品のエネルギー含量に基づいた割り当て	•	その他、具体的にお答えください		
•	購入した製品の化学物質含有量に基づいた割り当て				

提供された商品/サービスの市場価値または数量の単位(7列目)			
•	通貨	• 平方メートル	
•	キログラム	• ヘクタール	
•	ポンド(lb)	• メガワット時(MWh)	
•	トン	フルタイム換算(FTE)	
•	ガロン	● 時間	
•	リットル	• ‡□	
•	立方フィート		
•	立方メートル	• その他の単位、具体的に	

(20.13)排出量を顧客ごとに割り当てる際の課題と、その課題を克服するために役立つことは何ですか

変更なし(7.27)
この質問の目的は、貴組織の製品やサービスから特定の排出量を割り当てる際の課題について、貴組織の顧客に情報を提供することです。場合
によっては、そのような課題を克服するための具体的な解決策を、貴組織と顧客の間で見つけることができるかもしれません。
以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2
割当の課題	これらの課題を克服するために何が役立つかを説明してください。
選択肢:	文章記入欄[最大2,500文字]
 製品ラインが多様であることから、それぞれの製品/製品ラインのコストを正確に算定するのが難しい 顧客基盤が大きく多様なため、顧客レベルでの排出量を正確に追跡するのが困難 多様で多数の地域にわたる排出係数を管理しなくてはいけないので、総フットプリントの計算をするのが困難 そうするには、事業上の機密情報/専有情報を開示する必要がある 課題には直面していない その他、具体的に示してください 	

(20.14) 今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか?

質問内容		
完全版質問書との整合性	変更なし(7.28)	
説明	この質問の狙いは、顧客に対して、排出量配分の能力開発をどのように目指しているかについての洞察と透明性を提供することで、顧客 が、貴組織が提供する商品/サービスの排出量および/またはエネルギー原単位をより深く理 解 できるようにすることです。	
回答方法	以下の表に記入してください:	

1	2	3	4
今後、排出量を顧客に割り当てる 能力を開発する予定はありますか	どのように能力を開発する予定です か	排出量を顧客に割り当てる能力を開発する計画がない主 な理由	排出量を顧客に割り当てる能力を開発する予定がない 理由を説明してください
選択肢:	文章記入欄[最大 5,000 文字]	選択肢: 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例:組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した 排出量を顧客に割り当てる能力はすでに最大化されている その他、具体的に	文章記入欄[最大 5,000 文字]

エネルギー関連活動

(20.15)貴社では、電力消費量を国/地域別に分類していますか

質問内容		
完全版質問書との整合性 SME 版固有の質問		
説明	組織が排出量を報告できない場合、電力消費量は排出量をモデル化するための重要な情報です。さらに、エネルギー関連の法律が導入されるレベルは国/地域レベルであることが多いため、電力消費量を国/地域レベルに分類することはデータ利用者にとって有用です。この質問から得られるデータは、エネルギー関連の法律の策定に役立ちます。	
回答方法	以下の選択肢から回答してください: はい いいえ	

(20.15.1) 購入または取得した電力消費量の国/地域別の内訳を MWh 単位で提供してください。

質問内容		
他の質問との関連性	質問 20.15 で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。	
完全版質問書との整合性 質問の修正(7.30.16)		
説明	排出量計算における電力消費の重要性を考慮して、この質問はデータ利用者に組織による電力消費に関する透明性を提供します。これは、 排出量をモデル化するための重要な情報になります。	
回答方法	以下の表に記入してください。	

1	2	3	4	5
国/地域	再生可能エネルギー源によるMWh		合計(再生可能 + 非再生可能) MWh [自動計算]	コメント
		 		テキストフィールド [最大 2,500 文字]
[国/地域ドロップダウンリスト]	点以下 2 桁まで、カンマなしで入力してください]		1	

[行を追加する]

(20.15.2) 組織が購入または取得した電力の消費量を MWh 単位で報告してください。

質問内容		
他の質問との関連性 質問 20.15 で「いいえ」を選択した場合にのみ表示されます。		
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.30.1)	
説明	排出量計算における電力消費の重要性を考慮して、この質問はデータ利用者に組織による電力消費に関する透明性を提供します。これは、 排出量をモデル化するための重要な情報になります。	
回答方法	以下の表に記入してください。	

1	2	3	4	5
国/地域	再生可能エネルギー源によるMWh		合計(再生可能 + 非再生可能) MWh [自動計算]	コメント
		までの数値を小数点以下 2 桁まで、カンマな	数値フィールド - 自動 計算	テキストフィールド [最大 2,500 文字]

目標

(20.16) 報告年度に実施された排出量またはその他の気候関連の目標はありましたか?

質問内容			
他の質問との関連性 質問 20.1 の 1 列目のいずれかの行で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。			
完全版質問書との整合性 質問の修正(7.53, 7.53.3, 7.54)			
説明	目標設定は、企業戦略の成功とリスクおよび機会の効果的な管理において、環境活動において重要な役割を果たします。 データ利用者は、企業の排出量削減への取り組みと、組織が排出量関連の取り組みを調整し、集中させる目標を持っているかどうかを理解したいと考えています。この質問により、さまざまな組織に関連する企業の環境への取り組みの透明性が高まり、データ利用者は、企業が環境戦略を導く積極的な目標を持っていない理由を理解できるようになります。		
回答方法	以下の表に記入してください。		

	列1で「ターゲットなし」を選択した場合に表示されます		
1	2	3	
排出削減目標またはその他の気候関連目標	排出削減目標やその他の気候関連の目標を設定して いない主な理由	説明してください	
該当するものをすべて選択:	選択: 今後2年間で目標を導入する予定です 重要だが、当面のビジネス上の優先事項ではない 重要ではないと判断し、詳細を説明 内部リソースの不足 操業に関するデータが不十分 経営陣からの指示なし その他、具体的にご記入ください	テキストフィールド [最大 2,400 文字]	

[固定行]

(20.16.1) 排出の総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 20.16 で「総量目標」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.53.1)
説明	目標設定は、企業戦略の成功とリスクおよび機会の効果的な管理において、環境活動において重要な役割を果たします。 組織が、科学に基づく目標(Science Based Targets)設定イニシアティブのような主導的なイニシアティブやフレームワークのガイダンス に基づき、期限を定め、追跡可能で定量的な目標を設定し、それに向けて進捗を図ることを奨励しています。組織が科学に基づく目標を設定 することは、競争力の向上、ステークホルダーの期待への対応、規制、政策、市場の動向の予測、組織による機会の獲得など、いくつかの利点 があります。
回答方法	以下の表に記入してください。

			ドロップダウ ンは、質問 20.1の1列 目で選択さ れた「はい」 の回答に基 づいて表示	列4で「スコープ2 (購入した電気、熱、 蒸気、または冷熱からの間接排出)」オプションを選択した場合に表示されます。 「アプローチ不明」は、質問20.1で「スコープ2の数値を報告しているが、どのアプローチが使用されたか分からない」を選択した場合にのみ表示されます。	列4で「スコープ3(バリューチェーン上流/下流 における間接排出)」オプションを選択した場合に 表示されます。				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ターゲット 参照 番号	目標設定日	対象範囲	スコープ	スコープ2算定方法	スコープ3カテゴリー	基準年終了日	目標対象範囲の基 準年の総排出量 (tCO2e)	目標終了日	基準年からの削減目標(%)
Abs1- Abs50	[DD/MM/YY YY] 1900年 01月01日 から2024 年02月10 日までの間	選択肢: ・ 4 年 1 年 2 年 3 年 3 年 4 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7	該を • (はるら排ス(電蒸か接コーニ流るすべ コ所管活の出コ 購気気ら排ーー/間まで プま理動直)ーし熱冷間)(1に活りですが できますが できまか できまか できますが できますが できますが できますが できますが できますが さいま かま りょう かんしょう はいしょう かんしょう はいしょう はい はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はい	選択: • ロケーション基準 • マーケット基準 • アプローチは不明	該当するものをすべて選んでください: ・カステゴリー1:購入 おようゴリー2: 購入 おようゴリー2: 資料・カテゴリー3: 燃動・カテゴリー3: 燃動・カデゴリー4: 上流のり・カテム・カーカーが通りでは、カーカーができます。 カーカー おいまり から はいり から	YY] 1900年01月 01日から 2024年02月 10日までの間	数値フィールド [0- 999,999,999, 999]	[DD/MM/YY YY] 2019年01月 01日から 2099年12月 31日までの間	パーセンテージフィ ールド [最大 2 桁の 小数点以下を使用し て 0 ~ 100 のパー センテージを入力]

			 カテゴリー10:販売製品の加工 カテゴリー11:販売された製品の使用 カテゴリー12:販売済み製品の使用済み処理 カテゴリー13:下流リース資産 カテゴリー14:フランチャイズ カテゴリー15:投資[FSにはないようです] その他(上流) その他(下流) 		
1	1	I	I	「はい、この目標は	

						「はい、この目標は 科学的に基づく目 標イニシアチブによ って認定されてい ます」が選択されて いる場合に表示	
	11	12	13	14	15	16	17
にるス	択したすべてのスコープ おける、目標が対象とす 目標終了日の総排出量 コープ(トンCO2e)[自 計算]	選択したすべてのス コープにおける、目標 が対象とする報告年 の総排出量(トン CO2e)	基準年に対する 目標達成率(%)		これは科学に基づく目標ですか	科学に基づく目標設定イニシアティブ公式認定レター	目標の対象範囲を説明し、除外事項を説明してください

数値フィールド [0-	数値フィールド [0-	パーセンテージ	選択肢:	選択肢:	[ファイル添付]	テキストフィールド
[999,999,999,999]	[999,999,999,999	フィールド	●新規	• はい、この目標は科学に基づく目標設定イ		[最大 2,500 文
]		●設定中	ニシアチブによって認定されています。		字]
			●達成済み	• はい、私たちはこの目標を科学に基づくも		
			●達成し、維持	のと考えており、現在、科学に基づく目標設		
			有効期限切れ	定イニシアチブによってレビューが行われ		
			●改訂	ています。		
			●置き換えた	• はい、私たちはこの目標を科学に基づくも		
			取り下げ	のと考えており、今後2年以内に科学に基		
				づく目標設定イニシアチブによるこの目標		
				の認定を求めることをコミットしています。		
				• はい、私たちはこの目標を科学に基づくも		
				のと考えていますが、今後2年以内に科学		
				に基づく目標設定イニシアチブによるこの		
				目標の認定を受けることをコミットしてい		
				ません。		
				• いいえ、しかし、科学に基づく別の目標を報		
				告しています。		
				• いいえ、しかし、今後2年のうちに1つは設		
				定する予定です		
				• いいえ、また今後2年間には設定する予定		
				はない		

[行を追加する]

(20.16.2) 排出原単位の目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 20.16 で「原単位目標」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.53.2)
説明	目標設定は、企業戦略の成功とリスクおよび機会の効果的な管理において、環境活動において重要な役割を果たします。 組織が、科学に基づく目標(Science Based Targets)設定イニシアティブのような主導的なイニシアティブやフレームワークのガイダンス に基づき、期限を定め、追跡可能で定量的な目標を設定し、それに向けて進捗を図ることを奨励しています。
回答方法	以下の表に記入してください。

			ンは、質問 20.1の1列目 で選択された 「はい」の回答 に基づいて表 示	列4で「スコープ 2(購入した電 気、熱、蒸気、気、 気、熱、熱からが 間接排出)」が おまからが た場合に表示。 「アプローチの数値をが、チがり でいるが、チが分別で でいるが、チが分別で でいるが、チが分別で によっ。 でいるが、チが分別で によっ。 でいるが、チが分別で によっ。 にない」がですが、 にない」がですが、 にない」がですが、 にない」がですが、 にない」がですが、 にない」がですが、 にない」ができます。 にない。 にな、 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 に	ューチェーン上流/下流 における間接排出)」オ プションを選択した場合 に表示されます。						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
番号	定日	対象範囲	スコープ	スコープ2算定方法	スコープ3カテゴリー	排出原単位の単位の単位	7日	選択され たすベコー の の の を に が は り の は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	日標終了日	基準年からの削減目標(%)	選択されたすべてのスコープの目標終了日における原単位(単位あたりのtCO2e)
Int1- Int50	[DD/MM/ YYYY] 1900年 01月01日 から 2024年 02月10日 までの間	組織全体事業部門	該当するも の選 スコー プ1(所 有に管理	選択: • ロケーション 基準 • マーケット基 準 • アプロー チは不明	該当するものをすべて選んでください: ・カテゴリー1:購入商品およびサービス ・カテゴリー2:資本財 ・カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコー	ドロッ プダ ウンか ら選 択	[DD/MM/ YYYY] 1900年 01月01日 から 2024年 02月10日	数値フィ ールド[数 字を入力 Oから	[DD/MM/ YYYY] 2019年 01月01日 から 2099年 12月31日	パーセンテー ジフィールド [最大 2 桁の 小数点以下を 使用して 0 ~ 100 のパーセ ンテージを入	数値フィールド[0- [999,999,999,9 99]

にする活	いもの)
動から	┃ • カテゴリー4: 上流の輸 ┃
の直接	送と流通
排出)	● カテゴリー5: 操業中に
• スコープ	発生する廃棄物
2(購入	● カテゴリー6: 出張
した電	● カテゴリー7: 従業員の
気、熱、	通勤
蒸気、冷	●カテゴリー8:上流リース
熱から	
の間接	
排出)	
371 117	● カテゴリー10: 販売製品
• スコー	の加工
プ3(バ	◆カテゴリー11:販売され
リューチ	た製品の使用
ェーン	● カテゴリー12: 販売済み
上流/下	製品の使用済み処理
流にお	● カテゴリー13:下流リー
ける間	ス資産 スラース・アル・フェート スラース スラース
接排出)	^{人員性} • カテゴリー14:フランチ
JXJ7FIII/	
	ヤイズ ナーディー 15 thisters
	◆カテゴリー15:投資[FS
	にはないようです]
	●その他(上流)
	7.0 /h (T)\$\
	• その他(下流)

13 選択されたすべてのスコープの報告 年における原単位(単位あたりの tCO2e)	14 基準年に対する目標 達成率(%)	15 報告年度の目標状況	16 これは科学に基づく目標ですか	「はい、この目標は科学的 に基づく目標イニシアチ ブによって認定されてい ます」が選択されている 場合に表示 17 科学に基づく目標設定 イニシアティブ公式認 定レター	18 目標の対象範囲を説明 し、除外事項を説明してく ださい
数値フィールド [0~999,999,999,999,999 の数値を、小数点以下最大 10 桁でコンマなしで入力してください]	パーセンテージフィールド	選択肢: ・新規 ・設定中 ・達成が、維持 ・有効期限切れ ・改言・換えた ・ 取り下げ	選択肢: • はい、この目標は科学に基づく目標設定イニシアチブによって認定されています。 • はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えており、現在、科学に基づく目標設定イニシアチブによってレビューが行われています。 • はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えており、今後2年以内に科学に基づく目標設定イニシアチブによるこの目標の認定を求めることをコミットしています。 • はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えていますが、今後2年以内に科学に基づく目標設定イニシアチブによるこの目標の認定を受けることものと考えていますが、今後2年メートしていません。 • いいえ、しかし、科学に基づく別の目標を報告しています。 • いいえ、しかし、今後2年のうちに1つは設定する予定です • いいえ、また今後2年間には設定する予定はない		テキストフィールド [最大2,500 文字]

[行を追加する]

原単位指標(12列目)

- グラム CO2 換算/売上旅客キロ
- CO2 換算トン/USD(\$)付加価値
- CO2 換算トン/平方メートル
- CO2 換算トン/アルミニウムのトン
- CO2 換算トン/鋼鉄のトン
- CO2 換算トン/セメントのトン
- CO2 換算トン/段ボールのトン
- グラム CO2 換算/キロメートル
- CO2 換算トン/単位売上
- CO2 換算トン/単位フルタイム換算(正社員数)
- CO2 換算トン/単位勤務時間
- CO2 換算トン/製品のトン
- CO2 換算トン/製品のリットル
- CO2 換算トン/生産単位
- CO2 換算トン/提供サービス単位
- CO2 換算トン/平方フィート
- CO2 換算トン/キロメートル
- CO2 換算トン/旅客キロメートル
- CO2 換算トン/メガワット時(MWh)
- CO2 換算トン/石油換算バレル(BOE)
- CO2 換算トン/生産した車両数
- CO2 換算トン/処理された鉱石のトン
- CO2 換算トン/1 オンスの金
- CO2 換算トン/1 オンスの白金
- CO2 換算トン/凝集体のトン
- CO2 換算トン/10 億(通貨単位)の運用資金
- その他、具体的にお答えください

(20.16.3)報告年度に実施されたその他の気候関連目標の詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、20.16 で「低炭素エネルギー消費または生産の増加または維持の目標」、「メタン排出削減の目標」、「ネットゼロ目標」、または「その他の気候関連目標」が選択された場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.54.1、7.54.2、7.54.3)
説明	目標設定は、企業戦略の実行や、依存、影響、リスク、機会の効果的な管理における役割を通じて、環境行動において重要な役割を果たします。排出削減目標は、組織が変化を推進するために使用する関連目標の唯一のタイプではなく、他のタイプの目標も排出削減のための組織の戦略の重要な要素になり得ます。この質問は、さまざまな組織に関連する企業の環境コミットメントの透明性を高めます。
回答方法	以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下にある「行の追加」ボタンで行を追加することができます。

			「ネットゼロ目 標」を選択した 場合のみ表示 されます						
2 目標参照番 号	3 目標設定日	対象範囲	5 このネットゼロ 目標に関連する 目標	基準年終了日	目標終了日	8 目標の説明	9 報告年度の目標 状況	10 この目標は包 括的な取り組 みの一部です か?	11 目標の対象 範囲を説明 し、除外事項 を説明して ください

選択	Oth1	[DD/MM/YYYY		該当するもの	[DD/MM/YYYY	[DD/MM/YYYY	テキストフ	選択肢:	該当するもの	テキストフィ
● 低炭素エネ	_]	● 組織全体	をすべて選]]	ィールド	●新規	をすべて選択:	ールド [最
ルギーの消	Oth5	1900年01月01	• 事業部門	択:	1900年01月	2019年01月01	[最大	● 設定中	• RE100	大 2,400
費または生	0	日から2024年	• 事業活動	• Abs1-	01日から	日から2099年	2,400	●達成済み	・ 科学に基づ	文字]
産を増加ま		02月10日まで	● サイト/施設	Abs50	2024年02	12月31日までの	[文字]	●達成し、維持	く目標設定イ	
たは維持す		の間	● 国·地域	• Int1-Int50	月10日までの	間		有効期限切れ	ニシアチブ-	
る目標			● 製品レベル	• ない	間			●改訂	中小企業向	
• メタン排			その他、具体的に	該当する				●置き換えた	け	
出量削減								取り下げ	• 科学に基づ	
目標									く目標設定イ	
• ネットゼ									ニシアチブ-	
□目標									中小企業以	
その他									外	
の気候									• 国連Race	
関連目									to Zero –	
標									SMEクライ	
									メートハブ	
									包括的なイニ	
									シアチブの一	
									部ではない	
									• その他、具体	
									的に	

[行を追加する]

排出削減の取り組み

(20.17) 報告年度内に排出削減の取り組みを実施しましたか? これには、計画段階や実行段階にあるものも含みます。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、20.1 の1列目のいずれかの行で「はい」が選択された場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.55)
説明	この質問に対する回答によって、CDPデータ利用者は、BAUシナリオを超える排出量削減(標準的な保守・交換活動を超える)に対する組織のコミットメントを理解することができます。
	組織がGHG排出量を測定したら、次に重要なステップは、排出量が最も多い場所を特定し、その排出量を削減するための措置を講じることです。組織の戦略の一環として排出削減イニシアチブを実施すると、潜在的なコスト削減や効率性の向上など、多くのメリットがあります(例:輸送

	ルートを最適化するとルートが統合され、輸送に関連する排出量とコストが削減されます)。 さらに、多くの国や組織が自ら排出目標を設定しており、サプライチェーン内の組織がこれらの目標達成に貢献し、環境への悪影響を軽減するためにどのような取り組みを実施しているかを理解したいと考えています。 この質問に対する回答により、CDPのデータ利用者は、組織が通常の業務シナリオを超えて(標準的なメンテナンス/交換活動を超えて)排出量を削減することに取り組んでいることや、排出量を積極的に削減するというベスト プラクティスに取り組んでいない理由を理解できるようになります。
回答方法	次の表に記入してください。

1	<i>列1で「いいえ」を選択した場合に表示されます</i> 2
排出削減イニシアチブ	排出削減イニシアチブを実施しない主な理由
選択: はい いいえ、しかし今後2年以内に予定しています いいえ、今後2年以内に予定はありません	選択:

[固定行]

(20.17.1) 報告年度に実施した排出削減の取り組みの詳細を以下の表に記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、20.17で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(7.55.2)
説明	CDP のデータ利用者は、排出量削減目標の達成状況や、報告年度に実施されたその他の排出量削減活動について理解することに関心を持っています。
回答方法	以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下にある「行の追加」ボタンで行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6
イニシアチブのカテゴリー	イニシアチブの種 類	排出削減が生じるスコープ(複数可)またはスコープ3のカテゴリー (複数可)	自主的/義務 的	CO2e の削減量と財務上の影響を見積もることはできますか	年間CO2排出削減量の推定 値(トンCO2e)
選択肢: ・建物のエネルギー効率 ・生産工程におけるエネルギー効率 ・廃棄物削減と原材料循環 ・漏洩による排出 ・低炭素エネルギー消費 ・低炭素エネルギー発電 ・非エネルギー工業プロセスの排出削減量 ・企業方針または行動の変化 ・輸送 ・ その他、具体的に	ンオプションから 選択してください		選択肢: • 自主的 • 義務的	はいいいえ	数値記入欄[0~999,999,999,999,999,999,999,999の数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。

7	8	9	10	11
年間経費節減額(通貨)	必要な投資額(通貨)	投資回収期間	イニシアチブの推定活動期間	コメント
数値記入欄[0~ 999,999,999,999,999	数値記入欄[0~ 999,999,999,999,999	選択肢:	選択肢:	文章記入欄[最大1,500 文字]
の数値を小数点以下、カンマ	の数値を小数点以下、カンマ	• <1年	• <1年	

なしで入力]。	なしで入力]。	• 1~3年	• 1-2年	
		• 4~10年	• 3~5年	
		• 11~15年	• 6~10年	
		• 16-20年	• 11~15年	
		• 21~25年	• 16-20年	
		• >25年以上	• 21-30年	
		ペイバックなし	• >30年以上	
			● 継続中	

[行を追加する]

建物のエネルギー効率

- 断熱
- メンテナンスプログラム
- すきま風対策
- ソーラーシェード
- ビル・エネルギー管理システム(BEMS)
- 暖房、換気、空調(HVAC)
- 照明
- モーターとドライブ
- 熱電併給(コージェネレーション)
- その他、具体的に

生産工程におけるエネルギー効率

- 廃熱回収
- 冷却技術
- プロセスの最適化
- 燃料スイッチ
- 圧縮空気
- 熱電併給(コージェネレーション)
- 廃水処理
- 水の再利用
- 蒸気の再利用
- 機械/設備の交換
- オートメーション
- 電化
- スマート・コントロール・システム
- モーターとドライブ

イニシアチブの種類(2列目) 漏洩による排出

- 農業用メタン回収
- 農業用亜酸化窒素の削減
- 埋立メタン回収
- 石油/天然ガスのメタン漏れ捕捉/防止
- 冷媒漏れの低減
- 炭素回収・貯留・利用(CCS/U)
- その他、具体的に

低炭素エネルギー消費

- 固形バイオ燃料
- 液体バイオ燃料
- バイオガス
- 地熱
- 大規模水力発電(25MW以上)
- 小水力発電(25MW未満)
- 水力発電(容量不明)
- 再生可能水素燃料電池
- 太陽熱冷暖房
- 太陽光発電
- ソーラーCSP
- 原子力
- 風
- 潮汐
- 波
- CCSを備えた化石燃料プラント
- 低炭素電力ミックス

低炭素エネルギー発電

- 固形バイオ燃料
- 液体バイオ燃料
- バイオガス
- 地熱
- 大規模水力発電(25MW以上)
- 小水力発電(25MW未満)
- 水力発電(容量不明)
- 再生可能水素燃料電池
- 原子力
- 太陽熱冷暖房
- 太陽光発電
- ソーラーCSP
- 風
- タイダル
- ウェーブ
- CCSを備えた化石燃料プラント
- その他、具体的に

非エネルギー工業プロセスの排出削減量

- プロセス機器の交換
- プロセス材料の代替
- プロセス材料の効率
- 炭素回収・貯留・利用(CCS/U)
- その他、具体的に

企業方針または行動の変化

• 製品またはサービスのデザイン	◆ その他、具体的に	• サプライヤー・エンゲージメント
◆ その他、具体的に	•	• 顧客エンゲージメント
		• サイトの統合/閉鎖
- 廃棄物削減と原材料循環		• 購入方法の変更 資源効率
● 廃棄物削減		• 廃棄物管理
● 製品またはサービスのデザイン		• その他、具体的に
製品/部品/材料の再利用		
● 製品・部品・材料のリサイクル		輸送
● 再製造		- 出張規定
その他、具体的に		• テレワーク
		• 従業員の通勤
		• 社用車の入れ替え
		• 社用車の効率
		• その他、具体的に
		1

モジュール 21: 中小企業質問書の最終承認

モジュールの概要

このモジュールは、組織の応答および組織の承認で提供された環境情報の検証に関する情報を要求します。 検証と保証は、公開されるデータとプロセスの品質を保証するため、環境報告における優れた実践です。

この情報により、データユーザーは組織の対応の品質と信頼性に自信を持つことができます。

その他の環境情報の検証

(21.1) CDP 回答に含まれる環境情報(20.8 でまだ報告されていないもの)のうち、第三者によって検証および/または保証されているデータはありますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(13.1)
説明	この情報は、データ利用者に対する、貴組織の回答の質と信頼性を高めます。CDP は、第三者による検証・保証を環境報告におけるグッドプラクティスとして支持しています。この質問により、主要な組織は、これに関する取り組みを報告し、投資家や購買組織が関心を持つ検証・保証の傾向を強調することができます。CDP はまた、新たな基準や規制への準拠を実証するために、第三者によって検証された信頼性の高い環境データを開示することの重要性が組織にとって高まっていることを認識しています。
回答方法	以下の選択肢から回答してください。 • はい • 現在、第三者による検証/保証が進行中である。 • いいえ。しかし、今後 2 年以内に、CDP の回答におけるその他の環境情報について、第三者による検証/保証を得る予定です。 • また、今後 2 年以内に、CDP の回答におけるその他の環境情報について、第三者による検証/保証を受ける予定はない。

(21.1.1))CDP の回答のうち、第三者によって検証および/または保証されているデータポイントはどれか、またどの基準を使用したか、示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、21.1 で「はい」または「第三者による検証/保証は現在進行中です」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(13.1.1)
説明	この情報により、データ利用者は、組織の CDP 対応のどの要素が認定された第三者によって検証/保証されたかを理解することが
	できます。
回答方法	以下の表に記入してください。

公開するテーマに応じてドロ ップダウンオプションが表示 されます	ドロップダウンオプションは、 1列目の選択に基 づいて表示(モジュール 14 ~ 18 はすべてのテ ーマで表示され、モジュール 19 と 20 のみ1列 目で「気候変動」を選択した場合に表示されます)		1列目の選択に応じてドロッ プダウン オプションが表示 されます。		
1	2a	2b	3	4	5
データが検証および/または 保証されている環境問題	検証および/または保証を受けた 情報開示モジュ ール	検証および/または保証を受けた 情報開示データ	検証/保証基準 	第三者検証/保証プロセスの詳細	検証/保証の証拠/報告書を添付する(任意)
該当するものをすべて選択: 気候変動フォレストウォーター	選択: • 14: イントロダクション • 15: リスクと機会の特定、評価、管理 • 16: リスクと機会の開示 • 17: ガバナンス • 18: ビジネス戦略 • 19: 環境パフォーマンス - 連結アプローチ • 20: 環境パフォーマンス - 気候変動 • CDP回答のすべてのデータ ポイント	以下のドロップダウン オプ ションから該当するものを すべて選択してください。	以下のドロップダウン オ プションから該当するもの をすべて選択してくださ い。	文章記入欄[最大 2,000文字]	[ファイル添付]

[行を追加する]

検証および/または保証を受けた情報開示データ(2b列目)

イントロダクション

- モジュール14のすべてのデータポイント
- モジュール14のその他のデータポイントを指定してください

リスクと機会の特定、評価、管理

- 特定、評価、管理プロセス
- モジュール15のすべてのデータポイント
- モジュール15のその他のデータポイントを指定してください

リスクと機会の開示

- 環境リスクの財務的影響
- モジュール16のすべてのデータポイント
- モジュール16のその他のデータポイントを指定してください

ガバナンス

- 環境方針
- モジュール17のすべてのデータポイント
- モジュール17のその他のデータポイントを指定してください

ビジネス戦略

- 移行計画
- モジュール18のすべてのデータポイント
- モジュール18のその他のデータポイントを指定してください

環境パフォーマンス - 連結アプローチ

- 連結アプローチ
- モジュール19のすべてのデータポイント
- モジュール19のその他のデータポイントを指定してください

環境パフォーマンス - 気候変動

- 顧客への排出量の割り当て
- 電気/蒸気/熱/冷却の消費
- 排出削減の取り組み/活動
- 目標に対する進捗
- 再生可能電力消費量
- 目標設定方法
- 排出量総量の前年比変化(スコープ1および2)
- 排出量総量の前年比変化(スコープ3)
- 排出原単位の前年比変化(スコープ1および2)
- 排出原単位の前年比変化(スコープ3)
- モジュール20のすべてのデータポイント
- モジュール20のその他のデータポイントを指定してください

検証/保証基準(列3)

一般的な

- AA1000AS
- Aluminium Stewardship Initiative (ASW)
- ASAE 3000
- Attestation Standards (AT-C Section 105 & 210/205) established by the American Institute of Certified Public Accountants (AICPA)
- Compagnie Nationale des Commissaires aux Comptes (CNCC)
- CRevR 6 Bestyrkande av hållbarhetsredovisning (RevR 6 Assurance of Sustainability)
- CSAE 3000
- DNV Verisustain Protocol / Verification Protocol for Sustainability Reporting
- Dutch Standard 3000A
- IDW AsS 821: IDW Assurance Standard: Generally Accepted Assurance Principles for the Audit or Review of Reports on Sustainability Issues
- International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)
- ISAE 3000
- ISAE 3410, Assurance Engagements on Greenhouse Gas Statements
- RevR6 Procedure for assurance of sustainability report from Far, the Swedish auditors professional body
- Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)
- SGS Sustainability Report Assurance
- Standard 3810N Assurance engagements relating to sustainability reports of the Royal Netherlands Institute of Registered Accountants
- SURE (Sustainable Resources Verification Scheme)
- Sustainable Biomass Program (SBP)
- Verified Carbon Standard (VCS)
- Other general verification standard, please specify
- ◆ その他の一般的な検証基準を指定してください

ウォーター

その他の水関連の基準を指定してください

気候変動

- ABNT NBR ISO 14064-3:2007 (Associação Brasileira de Normas Técnicas)
- Advanced technologies promotion Subsidy Scheme with Emission reduction Target (ASSET)
- Airport Carbon Accreditation (ACA) des Airports Council International Europe
- Alberta Specified Gas Emitters Regulation
- ASAE 3410
- Australia National Greenhouse and Energy Regulations (NGER Act)
- California Mandatory GHG Reporting Regulations (Californian Air Resources Board regulations)
- Canadian Institute of Chartered Accountants (CICA) Handbook: Assurance Section 5025
- Carbon Trust Standard
- Chicago Climate Exchange verification standard
- Climate Action Reserve
- Corporate GHG Verification Guidelines from ERT
- CSAE 3410
- Earthcheck Certified
- ERM GHG Performance Data Assurance Methodology
- ERT Standard "Corporate Greenhouse Gas Verification"
- IDW PS 821: IDW IDW Prüfungsstandard: Grundsätze ordnungsmäßiger Prüfung oder prüferischer Durchsicht von Berichtenim Bereich der Nachhaltigkeit
- IRECS (International Renewable Energy Certificate services)
- ISO 14064-1
- ISO 14064-3
- JVETS (Japanese Voluntary Emissions Trading Scheme) Guideline for Verification
- Korean GHG and energy target management system
- NMX-SAA-14064-3-IMNC: Instituto Mexicano de Normalización y Certificación A.C
- Saitama Prefecture Target-Setting Emissions Trading Program
- Spanish Institute of Registered Auditors (ICJCE)

フォレスト

• その他のフォレスト関連の基準については、指定してください

- SSAE 3000
- State of Israel Ministry of Environmental Protection, VERIFICATION OF GREENHOUSE GAS EMISSIONS AND EMISSIONS REDUCTION IN ISRAEL GUIDANCE DOCUMENT FOR CONDUCTING VERIFICAITONS, Process A
- Swiss Climate CO2 label
- Thai Greenhouse Gas Management Organization (TGO)
- The Climate Registry's General Verification Protocol (GVP)
- Toitū carbon reduce
- Toitū climate positive
- Toitū net carbon zero
- Tokyo Emissions Trading Scheme
- Verification under the EU Emissions Trading Scheme (EU ETS) Directive and EU ETS related national implementation laws
- その他の気候変動関連の基準を指定してください

最終承認

(21.2)CDP への回答に最終承認した人物に関する以下の情報を提供してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(13.3)
説明	CDP は、組織に対し、CDP の回答を最終承認する人の職位と対応する職種を特定するよう求めています。この情報は、投資家に対して、回答やそこに含まれる情報に対して、企業構造のどこで直接的な責任を負っているかを示すものです。
回答オプション	以下の表に記入してください:

1	2
役職名	対応する職種

文章記入欄[最大 200 文字]

選択肢:

- 取締役会議長
- 取締役
- 最高経営責任者(CEO)
- 最高財務責任者(CFO)
- 最高執行責任者(COO)
- 最高調達責任者(CPO)
- チーフ・リスク・オフィサー(CRO)
- チーフ・サステナビリティ・オフィサー(CSO)
- その他の経営幹部
- 社長
- 法律顧問
- 事業部長
- エネルギー部長
- 環境·安全衛生部長
- 環境/サステナビリティ部長
- 設備管理部長
- プロセス・オペレーション・マネージャー
- 調達部長
- 広報部長
- リスク管理部長
- その他、具体的に

ウォーター・アクション・ハブ

(21.3) CDP がパシフィック・インスティテュートと連絡先を共有し、ウォーター・アクション・ハブのウェブサイト のコンテンツをサポートすることに 同意しますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(13.4)

説明	CEO ウォーター・マンデートのウォーター・アクション・ハブは、世界中のウォーター・スチュワードシップ・プロジェクトをカタログ化した オンライン・プラットフォームで、関係者がつながり、地域や地方の水問題を解決するために協力することを可能にしています。 CDP は、16.1.1 の公開回答データをパシフィック・インスティチュートと共有し、ウォーター・アクション・ハブのウェブサイトにアップロードし、ウォーター・スチュワードシップ・プロジェクトの候補として検討します。アップロードの対象となるのは、以下のデータポイントに対する回答のみです: • 水環境課題について、リスクが発生している国/地域、リスクが発生している河川流域、リスクに対する主な対応、対応の説明。 CDP のプライバシーポリシーはこちらをご覧ください。
回答オプション	選択肢: • はい、CDPが回答提出責任者の連絡先をパシフィック・インスティテュートと共有しても構いません。 • いいえ